

東京辰巳アイスアリーナ

指定管理者審査
提案書類（事業計画書）

団体名 セントラルスポーツ株式会社

所在地 東京都中央区新川一丁目21番2号

代表者名 代表取締役 後藤 聖治

事業計画書様式一覧

提 案 課 題				ページ	
1 事業計画書	提案課題 1	管理運営の基本方針		1～6	
	提案課題 2 施設の提供、運営に関する業務	1 施設の提供	(1) 施設提供の実施方針	7・8	
			(2) 休館日及び開場時間	9	
			(3) 利用の調整	10・11	
			(4) 利用料金	12・13	
		2 施設の運営		14・15	
		3 競技団体との連携	(1) 競技大会の開催	16	
			(2) 競技の普及振興	17	
		4 施設内サービス	(1) 受付案内	18	
			(2) 苦情・要望等に対する対応等	19	
		提案課題 3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務	1 事業の提供	(1) スポーツ振興事業	20・21
	(別表)事業実施計画[令和7・8年度（2025・2026年度）]			-	
	(2) スポーツの日記念事業			22	
	(別表)事業実施計画[令和7・8年度（2025・2026年度）]			-	
	(3) 開業イベント事業			23・24	
	(別表)開業イベントの事業実施計画			-	
	(4) 自主事業			25・26	
	(別表)事業実施計画[令和7・8年度（2025・2026年度）]			-	
	2 施設の事業を支える仕組み		(5) 周辺連携事業	27	
			(別表)事業実施計画[令和7・8年度（2025・2026年度）]		-
			(6) 利用者に対するサービス提供事業	28	
	(別表)事業実施計画[令和7・8年度（2025・2026年度）]		-		
	2 施設の事業を支える仕組み		(1) 広報	29	
		(2) 業務の品質管理	30		
		(3) 外部資金の導入等による事業の充実及び収益の確保	31		
	3 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組		32・33		
	提案課題 4 組織及び人材	1 効果的かつ効率的な組織体制の確保		34・35	
		(別表)各部門の所要人員		-	
		2 明確な責任体制の構築		36	
		3 適切な勤務体制等		37	
	4 人材育成の取組		38・39		
	提案課題 5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務	1 施設、附属設備及び物品の維持管理	(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理	40・41	
			(2) 施設の修繕	42	
		2 その他管理運営に関する事項	(1) 危機管理及び災害対応	43	
(2) 地球環境への配慮			44		
(3) 個人情報の保護			45		
(4) 感染症拡大防止		46			
提案課題 6 収支計画			47～50		
(別表) 指定管理期間中の収支計画			-		
(別紙1) 収支計画の積算内訳			-		
(別紙2)⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳			-		

提案課題 1 「管理運営の基本方針」

都立初の通年アイスリンク施設として、東京都における氷上スポーツの普及振興を図り、「スポーツフィールド東京」の実現に貢献します。

- 東京都における氷上スポーツ振興の拠点として、競技の発展、競技の裾野拡大を推進します
- 効率的な施設運営を図るとともに、都民に親しまれる施設づくりを行います
- 施設の戦略的な活用を推進し、都民に届ける価値の最大化に努めます

基本方針 大規模な施設、設備を有する都立初の通年アイスリンク施設である特性を生かし、東京都における氷上スポーツの普及振興を図る拠点として、競技大会や競技力向上の場、並びに都民が利用しやすい氷上スポーツの場として活用されるよう運営します。また、施設が持続的に発展できるよう、効率的な施設運営を行うとともに、周辺施設や地域と連携した取組を推進し、都民に親しまれる施設づくりを行います。



運営の推進に当たっては、TOKYO スポーツレガシービジョンなど東京都の施策に沿った施設の活用、取組を進め、都民のスポーツ実施率70%の達成、「スポーツフィールド東京」の実現に貢献します。

TOKYO スポーツレガシービジョンの考え方に基づく取組及び施設活用の展開例

ネットワークを強化し、 ポテンシャルを最大限発揮

- ・都立18施設が一体となった情報発信への積極的な取組や、隣接公園等の周辺施設と連携した情報発信などを実施し、「**発信力の強化**」を図ります。
- ・複数会場を必要とする氷上スポーツイベント等の開催時には、他の都立スポーツ施設と連携して使用需要に応えるなど「**ニーズ対応力の強化**」に努めます。
- ・都立スポーツ施設等との連携事業の推進や、隣接公園と一体となったニュースポーツ等の気軽に参加できるスポーツ事業の開催など、スポーツ施設間での「**一体的取組によるスポーツ振興**」を行います。

施設を最大限活用するための 「3つの取組」を推進

- ・競技大会を優先した施設提供や、利用可能時間を24時間に拡大し、東京都における氷上スポーツの練習環境を充実させるなど「**スポーツでの更なる活用**」を図ります。
- ・初心者教室や、小中学校の校外学習等での氷上スポーツの体験、アイスショー等のイベントを観る機会など、「**多様な活用による新たな体験の提供**」を図ります。
- ・隣接する公園や施設に加え、地元学校や自治会等と連携した取組で、地域との連帯を図ります。また、都立18施設や周辺の区及びスポーツ施設等とも連携することで「**施設・地域との連携**」を推進します。

競技利用の視点

都民利用の視点

1 氷上スポーツの拠点として競技の普及振興を推進

- ・年間来場者28万人を目標として設定し、競技利用や一般利用など、それぞれの目的や興味に応じた、多様な施設利用の促進を図ります。
- ・年間20大会、5興行の誘致を目標として設定し、これまでの経験を生かすとともに、競技団体や関連団体と連携し、国際・国内競技大会及びアイスショー等の興行を誘致します。
- ・氷上スポーツの拠点として、様々な競技大会等を開催し、都民に多くの観戦機会を提供するとともに、強化練習等によるアスリートの競技力向上を推進します。
- ・都民が日頃から利用できる個人使用や初心者教室等の体験機会の提供など、都民が利用しやすい場とするとともに、氷上スポーツの裾野拡大を図ります。



事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題1「管理運営の基本方針」

周辺施設と連携した視点 効率的な施設運営の視点

2 効率的な施設運営、親しまれる施設づくりを推進

- ・オフシーズンに興行イベントの誘致を積極的に進めることや、メインリンクが練習利用等の際、サブリンクでスポーツ教室を開催するなど、施設の有効的な活用を図ります。
- ・環境に配慮された設備を適切に使用し、エネルギー消費量の抑制を図るとともに、光熱水費の削減に努めます。
- ・個人使用から専用使用への利用の切り替えにおいて、短時間で適切な整氷を施し、ロスなく使用需要に応じていきます。
- ・当施設の周辺施設や地域と連携したスポーツイベントの開催等により、賑わいの創出、地域からのスポーツ振興を図ります。
- ・職場体験の受け入れ、地域清掃等による近隣教育機関や地域との交流、無料シャトルバス、シェアサイクルポート設置によるアクセシビリティ向上など、地域の魅力向上や活性化に取り組めます。
- ・競技の普及振興とともに、地域の賑わい、魅力向上や活性化等の取組みを通じ、多様な人々が集い、活動する施設として、末永く都民に親しまれる施設となるよう努めます。



3 東京都施策に沿った施設の戦略的な活用の推進

- ・「TOKYO スポーツレガシービジョン」において、東京2020大会の成果を、今後どのようにスポーツの振興に生かし、都市の中で根付かせていくか、その姿が示されました。
- ・「同ビジョン」における、戦略的活用の方針を取り入れ、都立18施設のネットワークの取組に積極的に参画（「発信力の強化」、「ニーズ対応力の強化」、「一体的取組によるスポーツ振興」）するとともに、ネットワークを活用した事業に取り組めます。
- ・さらに、当施設の特性を生かし、3つの取組による多様な活用を推進（「スポーツでの更なる活用」、「多様な活用による新たな体験の提供」、「施設・地域との連携」）します。
- ・施設の戦略的な活用を図り、都民に届ける価値の最大化に努め、「東京都スポーツ推進総合計画」に掲げる、都民のスポーツ実施率70%の達成、「スポーツフィールド東京」の実現に貢献します。

■基本方針に基づく、競技利用・都民利用・周辺連携・効率的運営の各視点による主な取組と効果例

	主な取組	効果
競技利用	年間20大会を目標設定し誘致を実施【競技団体と連携した誘致】	競技の発展、競技力向上
	大会開催による多様な観戦機会の提供【観るスポーツの振興】	興味関心の喚起、競技の裾野拡大
	競技団体の強化練習等への場の提供【競技力向上事業等の推進】	選手育成、競技力向上
	早朝夜間を予約可能とする場の提供【ニーズを捉えた場の提供】	都内練習環境の充実、競技力向上
	複数会場イベント等への場の提供【他施設と連携した対応】	ニーズ対応力の強化、エリアの活力
都民利用	来場者28万人を目標設定し利用を促進【多様な施設利用の促進】	競技利用等と併せて、競技の普及振興
	一般開放によるスケートを楽しむ場の提供【日常的な場の提供】	日常のスポーツ実践
	校外学習等でのスケートに触れ合う場の提供【体験の場の提供】	新たな体験、競技の魅力の理解
	初心者教室などの事業の実施【体験機会の提供】	競技の魅力の理解、競技の裾野拡大
周辺連携	定期教室などの事業の実施【技術向上機会の提供】	選手・愛好者育成、競技の裾野拡大
	周辺施設等と連携したにぎわいの創出【スポーツイベントの実施等】	施設・地域との連携、スポーツ振興
	周辺施設等との情報発信【イベント等の相互情報発信等】	発信力の強化、相互利用の促進
	施設間のコミュニケーション促進【連絡会等による円滑化等】	ニーズ対応力の強化、相互理解
効率的運営	他施設との一体的取組【イベント等の一体的な実施等】	一体的な取組によるスポーツ振興
	興行イベント年間5興行の誘致【オフシーズン活用、関連団体との連携】	施設の有効活用、収益性の確保
	メイン(練習利用)とサブ(教室)の別利用【2リンクの特性を活用】	効率的な運用、有効活用
	省エネルギーな製氷設備等の適切な使用【環境に配慮した運転】	H T Tの推進

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題1〔管理運営の基本方針〕

来場者目標達成に向けた方針

- 1 初心者からアスリート、競技利用や一般利用など、多様な施設利用を促進します。
- 2 利用者目線に立って利用者ニーズを捉え、運営やサービスの向上を推進します。
- 3 すべての利用者、来場者に安全・安心・快適な施設環境を提供します。

競技利用や一般利用など、多様な施設利用を促進

- ・24時間営業とし、夜間や深夜、早朝にアスリートの練習等への専用使用を可能とすることで、東京都における氷上スポーツの練習環境の充実、利用者の増加を図ります。
- ・大会へ積極的に施設提供し、都民に上質な観戦機会を提供することで興味関心を喚起し、来場者の増加を図ります。
- ・個人使用では、技術等に応じた使用場所の設定を行うなど、安全で利用しやすい運営を行うことで多くの利用に繋がります。
- ・体験教室や初心者向けの短期教室、愛好者向けの定期的な教室等を開催し、氷上スポーツの裾野拡大、リピート利用及び継続的な実践を促します。実施に当たっては、競技団体と連携し、レベルに応じた適切な指導ができる講師を選任することで、効果的な展開を図ります。
- ・周辺施設等と連携したイベントや周辺施設相互での情報発信等に取り組み、地域からのスポーツ振興、新規利用者の開拓に取り組みます。



練習利用のイメージ

利用者ニーズを捉え、運営やサービスの向上を推進

- ・大会利用やアスリートの練習利用、一般開放及び各種教室などの施設利用が、競技の発展、競技力向上、競技の裾野拡大等に繋がっていくよう、適切に取り組んでいきます。
- ・安全性の確保を最優先しながらも、利用者の目的や興味などのニーズを踏まえた運営・運用に取り組み、利用しやすい施設づくりを図ります。
- ・エレベーター、オストメイト、おむつ替え台の設置などハード面の整備に加えて、障がいのある人や高齢の方に対し、スムーズな移動動線のご案内など、利用者目線に立って対応します。
- ・施設利用に関する要望や意見を収集し、ニーズを把握していきます。個人利用の受付や大会打合せ等での会話も参考とし、利用者へのきめ細かい対応や、サービス提供・魅力向上に反映します。

安全・安心・快適な施設環境を提供

- ・施設、備品の安全確認や適正管理、災害や事故発生時の危機管理体制の整備、安全な施設利用に向けたルール設定、施設を清潔に保つ清掃など、良質な施設環境づくりを行います。
- ・大勢の滑走によってできる溝や穴につまずくことで起こる転倒事故や怪我を未然に防ぐため、適切な整氷、製氷設備運転を行い、安全滑走を妨げる要因の排除に努め、安全確保を図ります。
- ・氷の管理をはじめとする適切な管理や、大会を成功に導くための運営サポートなどにより、利用者に対し、安全・安心・快適なアイスリンク環境を提供します。

⇒利用目的別の来場者目標

利用目的	内容等	人数
大会等での専用使用		
練習等での専用使用		
一般開放での個人使用		
事業での参加者		
賑わい等のイベント使用 撮影などその他の来場		
合 計		28.3万人

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題1「管理運営の基本方針」

大会開催等目標達成に向けた方針

- 1 競技団体及び関連団体と連携し、積極的により多くの大会等を誘致します。
- 2 様々な競技、多様な活用による大会・イベント利用を推進します。
- 3 スケート施設運営管理の経験を活かし、円滑な競技運営を支える、高品質な氷環境を提供します。

競技団体等と連携し、より多くの大会等を誘致・開催

- ・大規模な施設設備の有する当施設のポテンシャルを最大限に発揮できるのは、多くの観客が集まる大会・イベントであると考えます。
- ・これまでの施設管理の経験を生かすとともに競技団体及び関連団体と連携し、年間目標数の開催に向けて取り組んでいきます。
- ・利用を検討する団体に対し、施設や備品の状況、利用上の留意事項等をお知らせするとともに、団体からの様々な要望や相談に適切に対応し、信頼関係を構築しながら誘致を図ります。
- ・大会、イベントの開催に際しては、主催者と緊密な連携を図り、円滑な施設利用とすることで、リピート利用、別催物の開催に繋げていきます。



大会利用のイメージ

様々な競技による活用を進め、競技の普及振興を推進

- ・当施設の施設運営計画では、フィギュアスケート、アイスホッケー、ショートトラック、カーリング、パラアイスホッケー、市いすカーリングなどの氷上スポーツ大会の場、アイスショー等のイベント会場として活用されることが期待されています。
- ・当施設の設置目的を踏まえ、様々な競技による大会やイベントの開催など、多様な活用となるよう取り組んでいきます。
- ・様々な大会等を誘致、開催し、都民に夢と感動を与える魅力的な観戦機会を提供することで、興味・関心を喚起し、氷上スポーツ実践のきっかけ、氷上スポーツの裾野の拡大に貢献します。

円滑な競技運営を支える、適切な氷環境の提供

- ・アイスリンクは、競技によって適した氷温や状態が異なります。競技種目や利用に合った良質な氷を提供することは大会等に不可欠な要素です。大会開催に際し、各主催者と事前に綿密な打ち合わせを行います。
- ・これまでのスケート施設における管理運営、氷質管理の経験と実績を生かし、アスリートファーストの視点で、適切な氷環境を提供します。適切な氷環境は、アスリートが全力を発揮することができ、円滑な競技運営を支えます。
- ・アスリート及び主催者から、氷環境の高い評価を得ることで、施設プレゼンスの向上を図り、更に多くの競技大会の誘致開催に繋げていきます。

	大会規模	大会数
大会		
興行	興行イベント	5 興行
	年間目標数	20 大会、5 興行

大会規模別の目標数(2年目以降の設定)

稼働率向上に向けた取組

- ・アスリートの練習環境の充実を図るため、夜間や深夜、早朝に 予約営業(専用使用)を行うことで、24時間の通し営業とし、施設を稼働させていきます。
- ・競技団体が行うアスリートの育成や強化の練習利用を積極的に受け入れ、施設稼働の向上を図ります。加えて、当施設周辺には があることから、施設利用の促進に向け、 での利用などを働きかけていきます。
- ・都立初の通年アイスリンク施設という希少性、天井が高く、のびのびした滑走ができる優位性等を、IIP や SNS などを活用して積極的な PR を行うことで、専用使用や個人使用の利用促進を図ります。また、撮影での利用希望についても積極的に受け入れ、ユニークベニューとして、建物や施設名称の露出効果により、新規利用団体(者)の獲得に努めます。
- ・ご利用者のニーズを踏まえた運営・運用に取り組み、魅力ある施設づくり、利用しやすい施設づくりを図ることで、リピート利用に繋げ、施設稼働の向上を図ります。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題1〔管理運営の基本方針〕

運営方針

1 東京都の施策と連携・協力し、都立スポーツ施設としての役割を発揮

- ・「未来の東京」戦略、TOKYO スポーツレガシービジョン及び東京都スポーツ推進総合計画を踏まえ、東京都の施策に沿った、公平な管理運営を実施し、**スポーツ実施率 70%の達成と「スポーツフィールド東京」の実現に貢献**します。
- ・隣接公園等の周辺施設や地域と連携した取組みを行い、スポーツ振興や地域の魅力向上・活性化に取り組むとともに、災害時に一時滞在施設としての機能を担うなど、社会や地域に対して貢献し、公の施設として責務を果たしていきます。

2 大会の開催と競技力向上の場としての活用を推進

- ・水上スポーツの国際大会、国内大会、都大会等の主要大会の場として活用されるよう、競技団体と連携し、**年間 20 大会を目標**として、積極的な誘致を行います。
- ・ジュニアの育成など、競技力向上の場としても活用され、競技団体等の強化育成が推進されるよう取り組みます。早朝、夜間の予約営業を行い、水上スポーツの練習環境を充実させます。

3 都民の利用しやすい氷上スポーツの場としての活用を推進

- ・都立初の通年リンクとして、季節を問わず、都民が日頃から利用できるよう、個人使用を行い、初心者から愛好者までのニーズを踏まえた運営を推進します。
- ・初心者、親子連れ、障害のある人、高齢者など、**誰もが参加できる教室や体験会**などを行い、氷上スポーツのすそ野の拡大を図ります。

4 大会・イベント等の誘致による「観るスポーツ」の推進

- ・氷上スポーツの「観るスポーツ」の振興拠点として、様々な大会やアイスショー等のイベントや興行の誘致を積極的に行い、**都民に魅力的な観戦機会を提供**していきます。
- ・複数会場が必要な大規模イベント等の使用需要に対しては、都立スポーツ施設や周辺施設と連携して開催を支援するなど、臨海エリアの活力の創出、東京の魅力向上に繋げていきます。

5 効率的な施設運営、効果的な施設管理の推進

- ・メインリンクとサブリンクの効率的な活用やオフシーズンを中心に興行誘致を進めるなど、施設の有効活用を図ります。設備を適切に使用し、**エネルギー消費量の抑制と経費の縮減**に努めます。
- ・多様化する利用者ニーズを踏まえた管理運営に努め、利用者の拡大等に向け取り組みます。

6 スポーツを普及振興するための多様な事業実施とスポーツ情報の発信の実施

- ・スポーツ振興事業やスポーツの口記念事業など、様々な年代や対象、目的に応じた多様な**スポーツの普及振興事業を実施**し、都民のスポーツ実施率 70%の達成に貢献します。
- ・氷上スポーツ等に関する資料を収集し、閲覧、展示、配布等を通じて提供し、利用者がスポーツに関する情報を得られるよう取り組みます。

7 大会や事業等における競技団体との連携

- ・大会の誘致においては、これまでの都立スポーツ施設の管理運営の経験を活かし、年間目標大会数の達成に向けて、競技団体等と連携して取り組んでいきます。
- ・スポーツの普及振興、スポーツの口などの事業実施に当たっては、競技団体の協力を得ながら、経験豊富な指導者やトップアスリート等による充実した指導とし、競技の普及振興を図ります。

8 PDCAサイクルによる業務改善、利用者目線に立ったサービス向上

- ・利用者のニーズを踏まえ、夜間や深夜、早朝の練習等への使用需要に応えます。
- ・利用者満足度調査や利用者懇談会、WEB を活用した意見収集など、**多様な方法で利用者の声**を取得し、PDCAサイクル等の考え方により改善を図り、施設のサービス・魅力向上に繋がります。

9 安全、安心の確保

- ・施設設備の日常点検や定期点検の適切な実施とともに、備品の安全管理、安全な施設利用に向けたルール設定等を行うとともに、**適切な整氷による事故の未然防止**や大会成功に向けた支援、施設清潔に保つ清掃などにより、安全・安心・快適な施設環境を提供します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題 1 「管理運営の基本方針」

業務全体にかかる履行体制

- ・弊社は創業来 50 年を超えるスポーツ健康産業のバイオニアであり、全国で 2 つのアイスリンク施設を含む多数のスポーツ施設の指定管理、直営スポーツクラブの運営実績を有す、**スポーツ施設での専門性を生かした事業・サービス展開が可能な企業**と自負しています。
 - ・また、前身の辰巳水泳場との繋がりも長く深いため、施設設備の理解、利用者の動きやトラブルなどへの対応、配慮が出来るものと考えています。
 - ・江東区や近隣の区には当社が運営する施設があり、緊急時には連携することが可能です。
 - ・新しいアイスリンクでこれらの経験を十分活かした、利用者に貢献できる管理運営ができるものと考えています。
- このため当社は、以下の点や管理体制に留意して管理運営を行います。

① 1 社体制による臨機応変な対応が可能な組織

- ・当社 1 社による全体管理で、施設長を中心とする決断の早い対応ができる組織を構築します。また、開業後は利用状況や専用利用・団体利用等の状況により、必要に応じて機動的に利用者に対応できるよう組織の改編にも取り組みます。



② 販わい創出の拠点としてのアイススケートリンク

- ・都立初の通年アイススケートリンクに目標来場者数を迎え、年々新たな販わいが広がるよう東京都と連携し、施設の PR やリピーターを増やす取組みを推進します。

③ 各競技団体や地域と連携した施設の運営

- ・各種事業や催事等においては、の団体と連携して、当施設の認知度の向上や大会や催し物などの事業を「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」として、また地域とも連携して都民と一緒に当施設を盛り上げていきます。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(1) 施設提供の実施方針

東京都における氷上スポーツの拠点として、競技大会や競技力向上の場、都民の誰もが気軽に楽しめる場を提供し、競技の普及振興を図ります。

- 競技団体と連携し、国際・国内競技大会を積極的に誘致・開催し、大会の着実な実施に向け最適な施設提供を行うとともに、練習環境を充実させるなど競技力向上にも貢献します
- 誰もが日頃から安心して利用でき、快適に氷上スポーツに親しめる場を提供します
- アイスショーなど興行の誘致を推進するなど収益向上を図り、利用者の積極的な拡大と施設稼働率の向上を目指し、効果的・効率的な施設提供に努めます

戦略的なスポーツ施設活用に資する施設提供

- ・「TOKYO スポーツレガシービジョン」など、東京都のスポーツ振興施策、本施設の施設運営計画や管理基準における設置目的及び基本方針を踏まえ、適切な施設提供を行います。
- ・国際・国内競技大会での施設利用に向け十分なサポートを行い、大会の成功を支援するとともに、**アスリートの練習利用に最適な環境を整える**ことで競技力向上に寄与します。
- ・初心者・親子、高齢者、障害者など**誰もが快適に過ごせる環境を整備**することで個人利用を促進し、氷上スポーツの普及・振興を図り「スポーツフィールド東京」の実現に貢献します。
- ・競技団体や関連団体と連携し、**アイスショー等の興行を積極的に誘致**し、着実に開催することにより収益の向上を図り、効果的・効率的な施設運営に努めます。
- ・施設、設備の維持管理や安全管理、災害対策等を適切に行い、これまでスポーツ施設運営で培ってきたノウハウを生かしながら、**全ての利用者、観客が安全・安心・快適に利用できる環境づくり**に取り組みます。

スポーツフィールド東京の実現に貢献

スポーツの普及・振興

競技の発展

スポーツを通じた
心身の健全な
発達の推進

東京都の施策等に沿った施設提供

大会等の専用使用や個人使用など、
様々な利用に施設を提供

安全・安心・快適なスポーツ環境の整備

- ・適切な維持管理、安全管理
- ・円滑な施設利用のサポート

施設の提供方針

各施設の特性や設置目的を踏まえた施設別の提供方針

①メインリンク

- ・国際規格サイズである 60m×30m のリンク、5,000 席の観客席など、施設のポテンシャルを最大限に活用した国際的・全国的・全都的なスポーツ大会を開催し、上質なスポーツ観戦機会を提供します。
- ・また、競技大会のみならず、アイスショー等のイベント会場としても活用し、氷上スポーツの「**観るスポーツ**」の振興拠点とし、**競技の普及振興に貢献**します。
- ・大会利用以外では、アスリートの練習利用や一般利用など、利用者が気軽に利用でき、親しめる施設とし、東京都における**競技力向上と都民の健康増進を推進**します。



競技大会開催のイメージ

②サブリンク

- ・大規模行事の際の練習会場としての利用や、アスリートの練習利用、スポーツ体験教室、一般利用など、**都民のスポーツ活動の普及や契機となる場として、競技の裾野拡大に貢献**します。
- ・都内に練習拠点の少ないカーリング競技者・愛好家の練習の場として、使用期日を設けながら施設を提供し、幅広く氷上スポーツの発展に寄与します。



サブリンクでの練習のイメージ

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

③会議室

- ・大規模大会時の大会控室や記者会見場等のメディア利用のほか、講習会、研修会による、指導者育成やスポーツに関する知識の習得・関心を高める場としての施設提供を行います。

④多目的室

- ・大規模競技大会時の選手のウォーミングアップ会場としての使用やサブリンクと隣接するため、サブリンクと連動した教室利用など、幅広く競技力向上や選手育成の場として提供します。
- ・ダンス、ヨガなどの場としての使用など、都民が気軽に利用できるよう、アイスリンクとの併用利用のみならず、多様な使用用途としてご利用いただける空間を提供します。

⑤屋外スペース

- ・競技大会、イベント開催時には競技体験コーナーや物販、売店等を設置する場所として提供し、来場者に観戦に加えた、付加価値となる場の創出、スポーツへの気運醸成に寄与します。

専用使用・個人使用における提供方針

①専用使用

- ・国際規格サイズのアイスリンクのポテンシャルを最大限に活用した**国際的、全国的、全般的な競技大会に施設を提供**し、都民に夢と感動を与える魅力的な大会の観戦を通じて、興味・関心を喚起し、スポーツの気運醸成、競技の発展を図ります。
- ・競技のオフシーズンには、アイスショーなどの興行、冬前に開催需要の高い等イベントを誘致し、収益の向上を図るとともに、多様な活用による新たな体験価値を提供します。
- ・アスリートの練習利用に施設を提供し、アスリートの強化・育成を推進し、競技の発展を図ります。また、学生やサークル等の練習、健康づくりに施設を提供し、都民のスポーツや健康増進を推進していきます。
- ・フィギュアスケート、アイスホッケー、ショートトラックの競技大会が可能なメインリンクとアイススケート、カーリングのどちらも利用可能なサブリンクの2面のリンクを有効活用し、効率的な利用を促進し、広く利用者のニーズに対応した運営を行います。
- ・利用者の安全確保を最優先とし、設備・備品等の保守・点検、災害や事故等発生時における危機管理体制の整備、大会等の運営サポート、施設を清潔に保つ清掃などを通じて、安全・安心・快適な施設環境を提供します。

専用使用における施設提供のポイント

- ✓ 東京都の施策等に沿った施設提供
- ✓ 国際的、全国的、全般的な競技大会の開催
- ✓ アイスショーなどの興行の開催
- ✓ アスリートの練習利用
- ✓ 学生やサークル等の練習・健康づくり利用
- ✓ 安全・安心・快適な施設環境の提供

競技の発展 ↓ スポーツを通じた心身の健全な発達の推進

スポーツの普及・振興

専用利用のポイント

②個人使用

- ・子供から高齢者まで、障害の有無に関わらず、**誰もがスポーツや健康増進に取り組むことができる場として、施設を提供**します。
- ・メインリンクで競技大会が実施される日については、競技大会主催者と調整し、可能な限り、サブリンクを個人使用として開放し、リンクの有効活用、効率的な利用を促進します。
- ・都民がスポーツに親しみ、継続的にスポーツが実践できるような施設提供を行い、スポーツ実施率の向上と氷上スポーツの裾野拡大に貢献します。
- ・利用者の安全確保を最優先とし、設備・備品等の適切管理、事故を未然に防ぐ安全管理、施設を清潔に保つ清掃、スタッフによる巡回や温かい接遇などを通じて、安全・安心・快適な施設環境を提供します。

個人使用における施設提供のポイント

- ✓ 誰もが気軽にスポーツできる場としての施設の提供
- ✓ 個人での練習・健康づくり利用
- ✓ 安全・安心・快適な施設環境の提供

競技の発展 ↓ スポーツを通じた心身の健全な発達の推進

スポーツの普及・振興

個人利用のポイント

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(2) 休館日及び開場時間

施設を最大に活用するとともに利用者ニーズを的確に捉えた柔軟な休館日・開場時間を設定します。

- 氷上スポーツ利用者のニーズを踏まえて、可能な限り、最小限な休館日設定をします
- 競技大会利用に伴う利用時間についてはフレキシブルに対応します
- 早朝、深夜の予約も受け付け、氷上スポーツの練習環境の充実を図ります

1 休館日の基本的な考え方

利用者のニーズを踏まえた休館日の設定

- ・東京都スポーツ施設条例施行規則を原則としながら、競技大会等の使用希望を総合的に勘案し、利用者ニーズに対応した休館日を設定します。
- ・法定点検等施設の安全管理上必要な点検について、**定期休館日（毎月第3月曜日）**に実施するなど、利用者に幅広く利用していただけるよう、利用者の安全、安心を担保しつつ、**可能な限り最小限な休館日設定**とします。
- ・アイスリンク利用の需要が高い年末年始をできる限り個人使用として一般開放し、都民が気軽に利用できる環境を提供します。

－年末年始の開館予定－

12月	29	開館
	30	
	31	閉館
1月	1	閉館
	2	
	3	開館

利用者ニーズに対応した休館日

2 開場時間の設定について

多様化する利用に柔軟に対応する開場時間の設定

①専用使用（競技大会/興行/早朝、夜間のリンク時間貸し利用）

- ・競技大会、興行利用時における利用時間は東京都スポーツ施設条例施行規則に則り、9時から21時を基本としますが、設営、撤去、選手の練習等に伴う基本時間外の利用については**主催者等の要望を考慮してフレキシブルに対応**します。
- ・メインリンク及びサブリンクにおけるアスリートの利用ニーズを踏まえて、**早朝、夜間（深夜）も予約を受け付け、氷上スポーツの練習環境充実**を図ります。
- ・早朝・深夜における利用は、騒音等による近隣住民への影響も考慮する必要があります。利用者へマナーに関する周知徹底を図るなど、近隣住民の方々へ配慮します。

－専用使用－

競技大会等
9:00～21:00
時間貸し利用（練習等）
18:00～10:00（翌日）

フレキシブルな利用時間設定

②個人使用

- ・東京都スポーツ施設条例施行規則を原則とし、個人使用施設の一般利用時間は10時から18時を原則とします。
- ・ただし、専用利用の予約がない場合は、9時から10時、18時から21時を一般利用とし、個人使用の需要に応えます。
- ・一般利用時間の案内は、利用者がわかりやすいよう、館内に掲示していきます。
- ・加えて、ホームページやSNS等を活用し、一般利用時間を情報発信するなど、効率的、効果的に実施します。
- ・特にスケートの一般利用のオンシーズン（12月～3月）には、今週末・明日・今日の予定を知りたい、とのニーズが高くなるためホームページやSNS等でも、一目で解る表現で告知します。

個人使用

10:00～18:00
専用使用の予約がない場合
9:00～21:00

個人利用の一般利用時間

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(3) 利用の調整

公平性・公益性・効率性に配慮した利用の調整により、
氷上スポーツの拠点として、多種多様な活動の利用を促進します

- 施設を最大に活用する受付で、より多くの利用者にスポーツ活動の場を提供します
- より多くの大会等の開催に向け、きめ細やかな利用調整を行います
- 5つのレスに対応した受付など、承認プロセスのデジタル化により、DX 推進を図ります

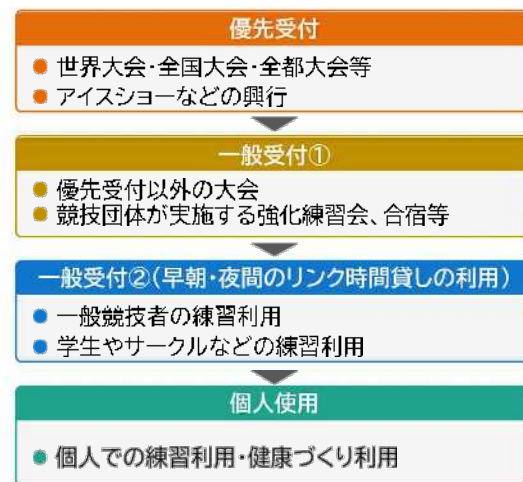
1 利用調整業務の流れの基本的な考え方

東京都の方針・施策に準拠した利用受付

- ・条例及び管理基準に準じ、各利用団体へ適切に案内を行い、東京都の方針や施策にあわせた公平かつ公正な利用調整を利用団体に滞りなく実施します。
- ・専用使用では、管理基準を踏まえた利用形態に応じた利用受付とし、公平性や公益性に配慮した利用の調整の流れ、利用受付とします。
- ・当施設は5つのレス（ペーパーレス、ハンコレス、FAX レス、タッチレス、キャッシュレス）に対応した使用申請や利用受付など、承認プロセスのデジタル化による DX 推進を図ります。
- ・個人使用では、券売機による取り扱いを基本とし、誰もがアイススケートを手軽に取り組めるよう、簡易でストレスフリーな手続きとします。

2 利用形態に応じた利用受付

- ・利用受付は、管理基準に従い適切に実施します。専用使用は、競技大会などによる「大会等による貸切利用」と、練習等の「早朝・夜間等のリンク時間貸し利用」の2種類に分類されます。
- ・幅広く、利用者のニーズに対応できるよう、優先受付後に行う一般受付を2回に分け、利用形態に応じた受付とします。
- ・これにより、大規模大会から小規模な大会の開催、競技団体のアスリートの強化・育成、サークルやチームの練習・健康増進への利用が可能となり、管理基準の基本方針に即して、利用者の要望に最大限に応えた効率的な運用が可能となります。



利用調整スケジュール

3 承認プロセスのデジタル化等による DX 推進

- ・優先受付等は、ペーパー、ハンコ、FAX、タッチレスに対応した事業計画書にて受付を行うとともに、使用承認に伴う支払いもキャッシュレス対応を実施します。
- ・個人使用では、券売機での支払いのキャッシュレス対応により、使用申請・承認のDX化に取り組めます。

専用使用における利用受付

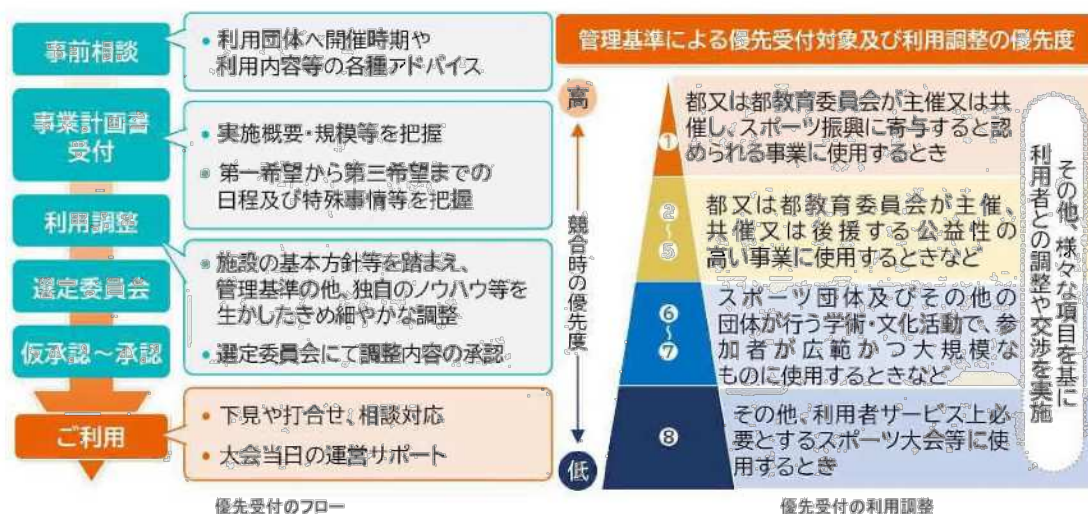
①世界大会、全国大会、東京都大会、興行等 【優先受付】

- ・優先受付は、東京都スポーツ施設条例施行規則及び管理基準に基づき、世界大会・全国大会・東京都大会などの競技大会やアイスショーなどの興行等を対象として実施します。
- ・当施設では、競技のバランス等を鑑み、公益性や大会規模等に配慮した、きめ細やかな利用調整を行い、多くの大会、行事が開催できるよう戦略的な調整を実施します。
- ・各競技団体や興行主等と適宜計画の共有を図り、各種目の団体同士で調整いただくなど、公平性を保ち公正な利用受付を行います。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供



②優先受付以外の大会、競技団体が実施する強化練習会 等 【一般受付①】

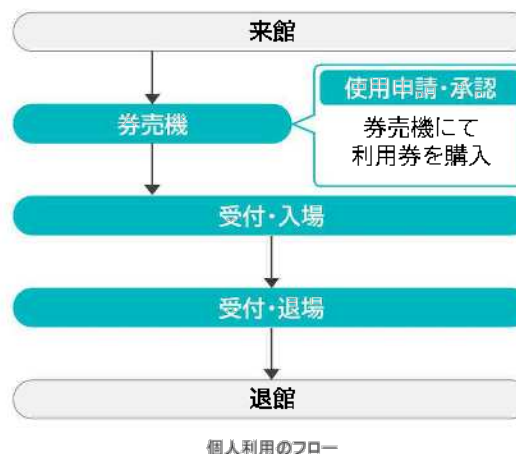
- 優先受付後の利用受付とします。優先受付以外の大会や競技団体の強化練習会 等の貸切使用を対象とし、氷上スポーツの競技力向上の場として活用していきます。
- 希望が重複した際は、体育・スポーツ等に使用する場合を優先とし、使用規模など施設の有効活用を考慮します。

③夜間、早朝の時間貸しの利用受付 【一般受付②】

- 一般受付①後の受付とします。一般競技者の練習利用、学生やサークルなどの練習利用を対象とし、管理基準の基本方針である氷上スポーツの練習環境を充実させます。

個人使用における利用受付

- 都民が気軽に利用できる施設として、メインリンクやサブリンクの個人使用は、手軽に使用できる簡便な手続きとします。
- 個人使用日程については、利用可能な施設及び日時をわかりやすく、ホームページや館内掲示で公開し、多くの方に利用されるよう取り組んでいきます。
- 条例の基準に基づく利用料金の減免対象の方など、個別の対応が必要な場合は、受付スタッフが適切に対応します。
- 料金の支払いについては現金のほか、QRコード、電子マネー、クレジットカード等のキャッシュレスにも対応し、利用者の利便性向上につなげます。



予約システム運用開始までの方針

- 東京都スポーツ施設予約システムが稼働（令和9年4月）するまでの期間においても、ご利用者にご不便をお掛けしないよう、公平で公正な適切な運用を行っていきます。
- ホームページ等を活用し、施設空き情報を適切に行うとともに、申込者からはメール等でも申込書を受け付け、円滑な予約手続きを遂行していきます。
- なお、予約システム稼働までは「元台帳」を作成し、予約の際には複数人によるチェックのうえ、元台帳に入れることとし、適切な運用を行っていきます。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

(4) 利用料金

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

別表

東京辰巳アイスパリーナ利用料金表

別表

施設の運営

経験豊富な職員により、安全・安心・快適なアイスリンク環境を提供します

- 多種多様な利用者のニーズを踏まえた、安全と安心の運営体制を構築し実践します
- 経験豊富な職員が徹底した管理を行い、利用者の安全確保に努めます
- 主催者のパートナーとして総力を挙げて大会成功のサポートをします

1 アイスリンク運営における基本的な考え方

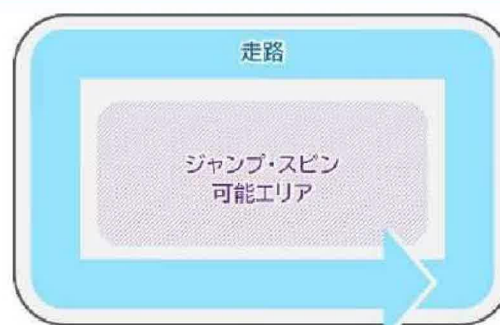
安全、安心、快適な施設の提供

- ・一般開放時、子供から高齢者、障害者、初心者から上級者まで幅広いターゲットを対象に安全かつ快適に利用いただけるように、それぞれに合わせたコースの整備、エリアの区分け、経験豊富な職員による声かけやアドバイス等、きめ細やかな施設運営を行います。
- ・職員の配置や巡回、繁忙期における増員など、利用者の安全安心を第一とした徹底した監視体制のもと、利用者の事故や怪我やトラブルなどを可能な限り、未然に防ぎ、安全に滑走できる環境を整えます。
- ・初心者も心配なく、ご利用いただけるように、職員によるスケート靴の履き方のレクチャーや怪我防止のためのヘルメットやプロテクター類の無料貸し出しを推進し、誰もが気軽に利用できるようにサポートを実施します。
- ・競技大会の際は、競技団体が安心して大会を運営できるように、主催者と密に連携を図り、適切なアドバイス、サポートを実施するとともに、競技に則した氷質の管理や適切な点検が施された貸出設備、備品の提供など、利用者・観客が安全・安心・快適に利用できる環境づくりに取り組みます。

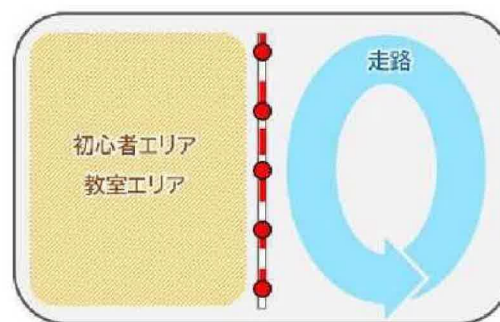
2 一般開放時の運営

多様な利用者ニーズに応える効率的なアイスリンク運営

- ・フィギュアスケート、アイスホッケー、ショートトラックの国際大会が開催可能なメインリンクを貸沢に滑走できる場として開放します。
- ・メインリンクにジャンプ、スピン可能エリア（時間限定）を設けることで、ジュニア選手などの上級者も練習活動の場として十分に満足できる環境を提供します。
- ・2面リンク、リンクの広さを最大限に活用し、エリアを効果的に区分けし、一般滑走のみならず、初心者教室なども同時に行うことで効率的なリンク運営を実施します。
- ・初心者については、できる限り、サブリンクからの利用を促し、ある程度の滑走技術を身につけてからのメインリンクの利用を案内することで、安全かつ快適な利用を促進します。
- ・ホームページや館内各所にわかりやすく利用に伴うルールを掲示し、特に、初めて利用する利用者にスケートリンク内の注意事項や利用に伴うルールについて説明します。
- ・貸出備品については、利用者の満足に添えるよう、豊富に揃え（ダブルブレードシューズ、貸ソリ各種等）適切な管理を行い、子供から大人まで楽しめるものを用意します。



メインリンクの走路・エリア分け



サブリンクの走路・エリア分け

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

3 場内安全管理

管理基準に基づいたアイスリンク場内安全管理

- ・公共のアイスリンクを運営する経験やノウハウを活用します。独自の安全管理基準のもと、適切な安全管理体制を整備します。
- ・職員が常時リンク内を巡回し、利用者の状況や氷の表面の穴や傷の状態を確認し、事故や怪我、利用者間でのトラブルを未然に防ぎ、安全に滑走できる環境を整えます。また、必要に応じて、土日や祝日の利用が多い日には、職員を増員するなど対応し、管理体制を強化します。
- ・利用者が安全に滑走できるよう、ルールへの掲示や声かけ、場内放送による注意喚起を行います。特に怪我や事故の原因になりやすい手袋の未着用や危険な滑走、間違ったスケート靴の履き方の確認を行います。
- ・整氷車の整氷作業の際は、利用者の安全の確保のため、30分前と15分前に場内放送で事前に利用者に周知し、製氷の開始の際は、確実にリンクの中に利用者がいないことを確認した上で、整氷作業を実施します。

4 経験と実績を生かした氷質管理の徹底

使用用途に臨機応変に対応する氷質の管理

- ・利用者が安全に滑走できるように日々の氷のメンテナンスを実施し、定期的な整氷作業（不陸調整）を行い、転倒事故による怪我の原因となる氷面の溝や穴を最小限に抑えます。
- ・各競技利用時に適した氷の温度を維持し、利用状況や利用者のニーズに適した氷質を提供します。
- ・管理シートを用いて氷面全体の高低差をできる限り均一に保つよう、リンク内数各所の氷厚を定期的に測定します。
- ・氷面の荒れ具合に応じて、一般開放時においては、平日は1～2回、利用の多い上口、祝口には2～3回程度整氷作業を実施します。また、整氷車だけでは補いきれない部分については、必要に応じて、サイドエッジャーを使用し、質の高い氷質を維持します。
- ・メインリンク競技大会の際は、2台の整氷車を同時に使用し、時間短縮のため、スピーディーな整氷を行います。また、整氷技術の他にも冷凍機による氷温管理における大会スケジュールに合わせた事前の氷温調整などを行い、氷温の維持管理及び氷質の管理を徹底します。
- ・サブリンクのカーリング使用時（H）はカーリング専用の整氷を行い、利用者満足度の向上に寄与します。

5 競技大会等の行事成功に向けた運営サポート

経験実績に基づいた、運営の各プロセスにおける細やかなサービス

- ・経験豊富で施設や設備を熟知した職員が総力を挙げてサポートするとともに、大会主催者のパートナーとして、主催者の立場に立って親身に対応し、大会の成功に貢献します。
- ・監理業務責任者に主催者との窓口を一本化し、問合せや要望を一元化します。迅速な対応を可能とし、密な連絡体制、高い信頼関係を構築します。
- ・大会当日も、主催者と緊密な連携を図り、安全・安心・快適な施設環境を提供します。
- ・貸出し備品の準備、設置、片付けについては利用者が借用時間内に行うことが原則ですが、必要に応じて職員がサポートします。
- ・利用者の安全確保を最優先とし、設備・備品等の保守・点検、災害や事故等発生時における危機管理体制の整備、大会等の運営サポート、施設を清潔に保つ清掃などを通じて、安全・安心・快適な施設環境を提供します。

(1) 競技大会の開催

競技団体と連携・協同し、大会の開催、大会の成功に取り組みます

- 事前折衝から大会当日まで、競技団体に寄り添った助言やサービスを提供します
- 競技団体と密な連携を図り、主催者の「パートナー」として全力でサポートします

1. 基本姿勢

- ・当社は都立スポーツ施設の指定管理者として施設の管理、運営実績を有しており、様々な大会のサポート経験や利用に際して遵守すべき各種法令等の知識を持っています。事前折衝から大会当日まで、競技団体に寄り添った助言やサービスを提供いたします。
- ・単純に施設や備品の貸出しを行うだけでなく、施設や地域のプレゼンス向上につなげるべく、競技団体と共に大会を盛り上げ、成功に導いていくため、全力でサポートします。

2. 競技大会の着実な実施に向けた具体的な取組

大会開催前の事前折衝等における競技団体との連携や取組

- ・競技団体との定期的な連絡や話し合いの機会を設け、国際・国内の競技スケジュールや都内開催希望の確認など利用調整に関する様々な情報収集を実施します。
- ・各種情報を取りまとめ、競技団体への施設情報やアドバイス提供、大会規模や重複する定例大会等の状況に合わせた戦略的な大会誘致計画の展開を競技団体との連携に基づき実施し、魅力ある大規模大会の誘致・開催につなげます。
- ・なお、施設管理者として、大会誘致を積極的に進めるため、上記の競技団体との話し合いなどに先行して、施設側としても競技スケジュール状況や近年の開催状況など、独自の施設利用に関する多方面の情報収集を予め実施していきます。
- ・各種競技大会を管理開始2年目以降には、年間20回の開催を目標とします。

大会の成功に向け、競技団体と連携した確認や調整

- ・大会の開催決定後については、主催者と共に大会を盛り上げ、成功させる「パートナー」として全力でサポートします。
- ・対応にあたっては、主催者の求める要望に応えるため、疑問や不安が解消されるまで頻繁な打合せ機会の提供、問い合わせや視察対応を実施の上、主催者と高い信頼関係を構築していきます。
- ・観客動線や選手の待機場所の設定、主催者側の係員の配慮ポイント、各種法令の遵守など、適切な助言・対応を行います。
- ・特に、VIPや車いす利用者等の留意が必要な誘導、移動計画等は主催者と入念に確認し、大会が円滑に進行するよう支援します。

利用当日の状況に合わせた臨機応変な現場対応

- ・大会当日には緊密な連携及びコミュニケーションを図り、適切な運営サポートを行い、安心・安全かつ円滑な施設利用を提供します。
- ・トラブルや計画との変更が必要になった際には、状況に応じて適切な現場対応、安全配慮を優先としたアドバイスや相談を行い、円滑な大会運営をサポートします。

利用相談	施設の利用を検討する団体からの様々な要望に無料で対応	利用希望日・利用内容・施設や設備の相談対応、見積書作成、施設・備品見学 等
申込後の団体対応	大規模大会から初めての利用まで、経験豊富なスタッフが徹底サポート	- 利用に合わせた担当の選任 - 連絡・相談体制の構築 - 疑問に対する適切なアドバイス - 備品・控室・動線・警備計画等の提案・助言 - 協賛等スポンサー展開による売店・マスキングなどへの対応・協力 等
事前打合せ	個別対応や法令対応により不安を解消し、利用に向けて最終調整	- 氷温・照明・音響・持込機器連動等の確認 - 感染症対策の確認 - 事故・救急等の対応方法や避難経路確保の確認 - 所轄消防・警察への相談支援、申請書類作成支援 等
利用当日	施設・設備や運営サポート、各種安全確認により、安心・安全・円滑な運営を提供し、大会を成功へ	- 連絡体制、変更点・不安箇所の有無等を確認 - 放送設備・操作サポート - 観客動線・待機列状況・感染症対策の確認 - 現場確認による維持管理や各種法令に準じたアドバイス 等

現場対応内容

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(2) 競技の普及振興

東京の氷上スポーツの振興拠点として、競技団体と連携し、氷上スポーツの裾野拡大を図ります

- 実績や経験を活かしたサポートを行い、競技の普及振興に貢献します
- 氷上スポーツの普及振興のための効果的な施設の貸出を実施します
- 氷上競技団体と連携を高め、相互の力を合わせて取り組みます

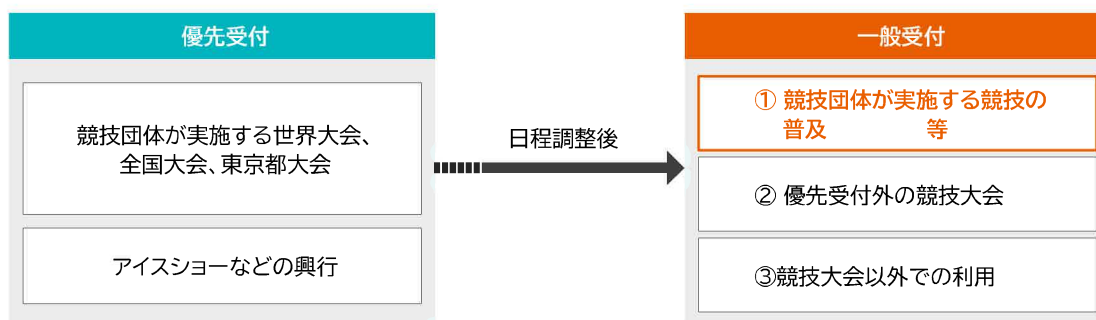
1. 基本姿勢

- ・当社は競技団体と協同した競技の普及や振興事業の実施やそれに伴う施設の貸出経験が豊富であり、幅広く、多数の競技団体との調整経験を有しています。これまで培ってきた経験やノウハウを最大限に活用し、東京都及び国の氷上スポーツ競技団体との関係性を構築し、競技の裾野拡大を全面的にサポートします。
- ・事業を実施することのみに満足することなく、氷上スポーツの裾野拡大のために競技団体と連携し、効果的な事業を実施できるよう模索します。
- ・1 競技団体に偏ることなく、幅広く、多種目にわたり施設を貸し出せるよう、公平な調整を実施します。

2. 競技の普及振興に向けた具体的な取組み

競技の普及振興に向けた施設の貸出

- ・優先受付後の一般受付について、氷上スポーツの裾野の拡大につながるよう、競技団体が実施する競技の普及等については優先的に受付調整を行い、実施に必要な日程の調整を行い、広く競技に施設を提供できるよう協力します。



一般受付における優先的な日程調整

競技団体と協同した事業の展開

- ・競技団体とのヒアリングや連絡会を通して、競技の普及振興に関する課題などを整理し、競技団体に寄り添い、競技人口の拡大やアスリートの発掘・育成等効果的に事業を実施できるよう、準備段階から適切なサポートを実施し、競技団体に寄り添った支援を実施します。
- ・競技団体の競技の普及・振興事業に積極的に協力し、当施設が東京の氷上スポーツのアスリート発掘、育成の場となるよう競技団体と密に連絡をとり、競技環境を整備します。
- ・事前の周知、集客についても競技団体と調整し、館内掲示やホームページ、SNS 等を使用するなど積極的な支援体制を整えます。

競技団体と協働した事業の展開

取組み例	取組み概要
「場」の提供	メイン・サブリンク+多目的室等、総合的な活用を提案する
	角的に支援する

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(1) 受付案内

誰もが安心して快適に利用できるインクルーシブな受付・案内サービスを実施します

- 利用目的に合わせたワンストップでの受付を行います
- 利用者ニーズに適した柔軟な対応を行います
- 利用者それぞれに違いがあることを認識し、多様性を尊重した対応を徹底します

1 基本的な考え方

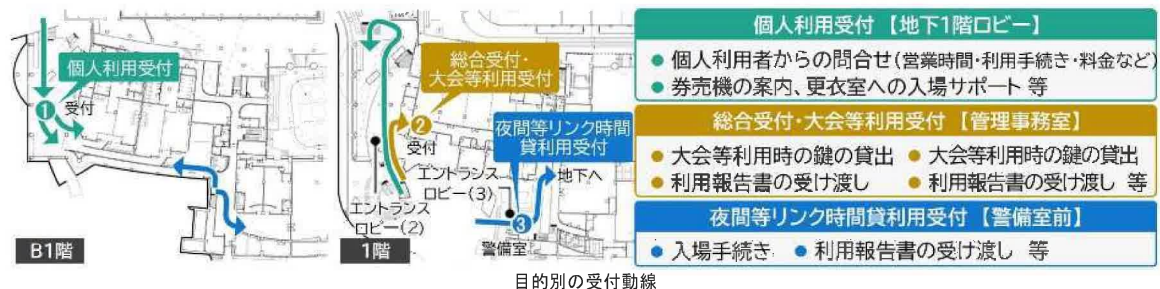
ワンストップでの受付対応とあらゆる利用者を想定した柔軟な対応

- ・専用利用者から個人使用者まで目的に応じた受付を設け、利用者の導線を明確にすることにより、利用者が快適かつスムーズな利用が可能となるようワンストップでの受付対応を行います。
- ・業務を熟知した職員を配置し、**利用者ニーズに適した柔軟な対応**を実施します。
- ・年齢や性別、国籍、障害の有無だけでなく、LGBTQ+、人種、思想の違いなどがあることを十分理解し、**多様性を尊重**した対応を徹底します。

2 具体的な取組

目的別の受付を設け、ワンストップでの効率的なサービス提供

- ・「専用使用（大会等）」「夜間等リンク時間貸使用」「個人使用」の目的に合わせた受付を設置し、利用者の導線が明確になることにより、ワンストップでの受付が出来るようにします。
- ・様々な利用者が想定される個人使用の時間帯には、職員にインカムを装着させ、受付員は司令塔の役割を担当し、館内の他の職員と連携して効率的にサービスやインフォメーションを提供します。



インクルーシブ社会の実現に向けた多様性を尊重した対応

- ・受付員には業務を熟知したスタッフを配置し、施設や事業の案内、利用における相談などに対し、利用者ニーズに適した柔軟な対応を実施します。
- ・障害者差別解消法の改正に伴う合理的配慮の提供の義務化を受け、利用者に寄り添った対応を心掛けると共に、思い込みや押し付けではなく、利用者が必要とされているサポートを実施します。実施にあたっては、「**公共サービス窓口における配慮マニュアル（内閣府）**」等を活用し、合理的な配慮に努めます。
- ・ホームページやリーフレット、表示物の多言語化に加え、接客ツールとして多言語翻訳アプリケーションを活用するなど、外国人対応を強化します。
- ・話し言葉に支障がある方や、外国人利用者と指さしで会話ができる多言語、ピクトグラム表記のコミュニケーションボードを数種配備します。
- ・耳の不自由な方が安心してご利用いただけるよう、耳マークや筆談用器具の設置、デジタルサイネージ等を活用した視覚的情報を活用した対応を行います。
- ・障害者対応研修を実施し、定期的にサービスの質の向上が図られるようにします。
- ・満足度調査や利用者からの意見を踏まえた定期的な業務改善や見直しを行い、利用者目線に立ったサービスの提供を行います。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(2) 苦情・要望等に対する対応等

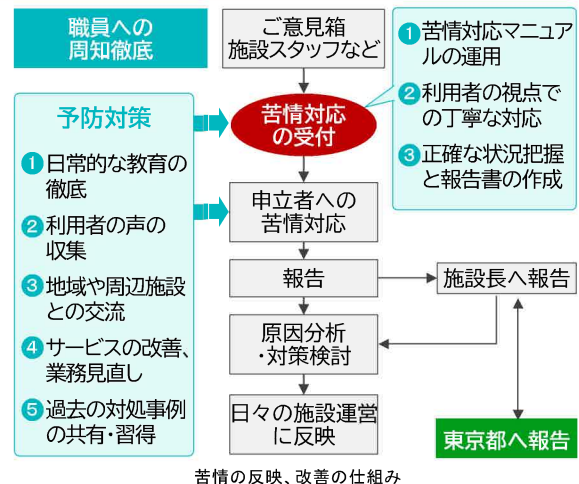
東京を代表する新たなスケートリンクとして、
広く愛される施設にするため、利用者の声を大切にしたい運営を行います

- ご意見・ご要望を重視しながら、利用者とともに新しい施設運営の在り方を築きます
- 対応ノウハウを蓄積・共有し、サービスレベルの向上を図ります
- 職員の育成や他施設での知見の活用等により、苦情やトラブルの未然防止を図ります

1 苦情・要望に対する基本的な考え方

利用者の声を尊重した施設運営

- ・新規開業後、利用者の皆様がひとつとおり施設の利用に慣れるまでは、様々なご意見・ご要望を多数いただくことが予想されます。
- ・そうした利用者の思いを大切にするとともに、職員の正しい知識とコミュニケーション能力を高め、迅速かつ真摯な対応を施し、利用者とともに新しい施設運営のあり方を築きあげていきます。
- ・個人利用、団体利用ともに、より良い施設づくりのため、様々な機会をとらえて、多様な利用者・利用希望者の声を集めます。(例：ホームページや館内 QR コードによる受付、利用者満足度調査、利用団体等へのヒアリング、事業実施後のアンケート、周辺施設との意見交換会など)



2 苦情・要望への対応、未然防止策等

サービスレベルの向上に向けた取組

- ・利用者からの苦情等についても、より良い施設運営のための貴重なご意見として真摯に受け止めるとともに、各部門において受けた苦情等は即座に施設長に報告します。施設長は総括責任者として速やかに原因を分析し、対策を検討して各セクションにフィードバックします。
- ・その際、公共施設の管理者という立場から、法令や規則上の問題が無いか、利用者の安全に問題が無いか、特定の者の利益になることはないかなどを十分に考慮するなど、公平・公正を原則としながらも、きめ細やかな対応に努めます。
- ・いただいた苦情等については経過状況や最終的な対応等について記録し、ノウハウを蓄積していくとともに、必要に応じて、東京都に報告・協議をします。
- ・また、事案が発生した場合には、施設全体の職員及び本社管理部門に直ちに共有するとともに、各責任者及び本社管理部門が集まる定例（臨時）会議においても、内容の共有だけでなく、対応策等について議論・検討することにより、サービスレベルの一体的な向上を図ります。

トラブルの未然防止等

- ・利用者に対するサービス向上はもちろんのこと、苦情対応等による職員自身の負担軽減という観点からも、利用者との日常的なコミュニケーションの大切さを職員に周知徹底し、トラブルの未然防止を図ります。
- ・職員やスタッフは接遇研修を受講するとともに、過去に起こった苦情等の対応内容などについて職員間で共有し、対処方法を習得することで、より効果的な初動対応を図ります。
- ・弊社は他の都立スポーツ施設を管理運営していることから、他施設でのトラブルや対応状況について、当施設の運営に活用できるものと考えますので、他施設のノウハウも活かした、サービス向上やトラブル防止を図ります。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(1) スポーツ振興事業

「スポーツ都市東京」実現のため、スポーツ総合推進計画など東京都の施策を踏まえ、都民の新たなスポーツ振興の拠点となる事業を推進します

- 都民のスポーツ実施率70%の達成を目指し、各種事業を実施します
- 新しい施設で「する・みる・支える」スポーツへの新たな関りを推進します
- スポーツを通じて「健康づくりや競技力の向上」ができる事業を推進します

1 事業の実施方針

新しい施設で様々な種目の『体験会』を実施し、氷上スポーツ振興に寄与

- ・当施設が都民のどなたでもご利用いただけることを周知するため、「各種体験会」を積極的に実施して、「誰もが楽しめる」施設・種目であることを継続的に都民に発信し続けます。
- ・各氷上スポーツ種目（フィギュア、スピード、ホッケー、カーリングなど）の体験会を実施して都民に新たなスポーツを紹介し、スポーツ実施者の増加を図ります。
- ・事業実施においては、どなたでも参加いただけるよう「幼児・子供、女性、働き盛り世代、高齢者、障害者、指導者」など対象毎に細やかに区分して、各々が楽しい体験ができ、「また利用したい」と効果の高い結果が得られるよう配慮します。
- ・体験会実施時は、各種目指導経験豊富な指導員と補助員・監視員を十分に配置して、ケガや事故防止を優先し参加者が安全に安心して参加できる体制を整備します。
- ・各種目の体験会は各種目競技団体などと連携して指導者を確保します。そして体験後、当施設の利用が継続するよう教室への誘致を推進し、長く利用が継続するよう施設と利用者の良好な関係性構築を促進します。
- ・氷上では身体全体でバランスをとって運動を行うため、特に巧緻性やバランス、柔軟性の獲得が望めます。これを長く続けて健康増進や体力の維持向上ができるよう、利用者への啓発に注力します。

体験会種目	対象者（概要）
スケート体験	子供、大人、親子 障害者
ホッケー	子供、大人
スケート短期教室	幼児、児童 初心者
カーリング	子供、大人

体験会種目一覧

2 「する・みる・支える」場として、スポーツ振興の拠点化事業を推進

多様な目的の利用を促進する事業を実施

- ・当施設の特性を活かして「する」スポーツのみならず、「みる・支える」スポーツへの機会を広く都民に周知して、新たな施設・種目の魅力と触れ合い、間接的に競技力の向上に参画いただく事業などを実施します。
- ・当施設で実施される各種競技団体と連携して競技会等の「観戦招待事業」や、当施設の施設内容をより詳しく知っていただく「バックヤード見学ツアー」などを行い、当施設や各種競技に関心を持っていただくための事業を推進します。
- ・「観戦招待事業」では、各種目の特徴や見どころなどを事業者が解説し、観戦者に各競技の理解を深めて頂き、観戦を継続して楽しんでいただくことを推進します。
- ・「バックヤードツアー」では、日常では見慣れない「堅氷車」の構造やカーリングのストーン見学なども行い、アイスアリーナへの理解と興味を深めていただき、親近感を持っていただきます。
- ・ボランティア活動として各大会時に、主催者と協働して選手などを主体とした大会支援スタッフ（ボランティアキッズ）を募集し、組織化します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

3 各種目の競技力向上に協力

各種競技の競技力向上を支援する事業

- ・各種目とも上級者や競技力の向上を目指す選手は、各団体やチーム・クラブなどに所属して「団体利用」の時間に練習する事が一般的ですが、選手の中には様々な理由でチームの練習に十分参加できない人が多いものです。そこで当施設はメイン&サブの2リンク施設である事を十分に活かして、施設側で「個人で参加できる練習会」(自主練習サポート)の時間帯を設定します。
- ・対象者には、団体登録ではなく、個人や少人数で事前申し込みを行っていただき、自主練習などの集中練習の機会を提供します。
- ・一般営業時間前後で専用利用の予約が入らない時間帯などの「メイン&サブリンク」や営業時間内の「サブリンク」を、事業者がリンクを確保することで、事前申込者に対して専用利用で練習できる環境を提供するものです。
- ・全種目を対象に、障害をお持ちの方には土曜日に設定するなど、利用者が活動し易い環境に配慮して、各カテゴリーの使い易さを考慮した時間帯・リンクを提供します。

4 各競技指導者の指導力の向上を支援

各種競技指導者・選手対象の研修会事業

- ・各種目の指導者を目指す人や競技志向者などを対象とした「講習会・研修会」を実施します。
- ・各種目の団体と連携して講師を招き、指導者や競技志向者を対象に競技力の向上を目指すための「指導」について学びます。
- ・また事故時やケガ、そして緊急時に対応する為の救急法やAEDの使用法なども学び、当施設の重大事故ゼロを目指すとともに、安全に安心して利用ができる環境の整備に指導者・利用者・施設職員皆で取り組み、施設を創っていきます。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和7年度(2025年度)]

◆ 内 容

単位：円

NO	事業名及び内容	対象層	時期	1事業当たり		収支計画			
			回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	【 初心者向け キッズスケート体験会 】 対象:4歳～未就学児 時間:45分間／場所:サブリンク 大会・イベントが開催されない土曜日・日曜日・祝日に実施	幼児	第3・第4 四半期 2回	20					
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	【 初心者向け ジュニアスケート体験会 】 対象:小学生～高校生 時間:60分間／場所:サブリンク 大会・イベントが開催されない土曜日・日曜日・祝日に実施	子供	第3・第4 四半期 2回	30					
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
3	【 初心者対象 大人のためのスケート体験会 】 対象:18歳以上 時間:60分間／場所:サブリンク 大会・イベントが開催されない土曜日・日曜日・祝日に実施	働き盛り世代 女性 高齢者	第3・第4 四半期 2回	30					
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
4	【 親子で楽しむスケート体験会 】 対象:4歳～小学生とその保護者 時間:60分間(＋60分自由滑走)／場所:サブリンク 滑る体験、補助具やレクリエーション的要素を入れて楽しむ	子供 働き盛り世代 女性	第4四半 期 1回	40 (20 組)					
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
5	【 障害のある方向け スケート体験交流会 】 対象:障害者とその付添者 時間:45～60分間／場所:サブリンク 滑る体験、補助具やレクリエーション的要素を入れて楽しむ	障害者	第3四半 期 1回	10組					
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
6	【 ジュニアのためのカーリング体験教室 】 対象:小学校高学年～高校生 時間:120分間／場所:サブリンク 本書No.7と同時開催	子供	第4四半 期 1回	20					
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
7	【 大人のためのカーリング体験教室 】 対象:18歳以上 時間:120分間／場所:サブリンク 本書 No.6と同時開催	働き盛り世代 女性 高齢者	第4四半 期 1回	20					
						収入合計	参加料	協賛金	その他※

8	【アイスホッケー体験・交流教室】 対象：小学生以上でスケートを滑れる方 時間：90分間／場所：サブリンク 冬休み若しくは春休み期間中に開催	子供 働き盛り世代	第4四半期 1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
9	【初心者・初級者向け 幼児・児童スケート教室(短期教室)】 対象：4歳～小学校低学年／期間：3日間 時間：45分間／場所：サブリンク 冬休み若しくは春休みの平日(開館前)に開催	幼児、子供	第4四半期 1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
10	【初心者・初級者向け ジュニアスケート教室(短期教室)】 対象：小学校高学年～高校生/期間：3日間 時間：60分間／場所：サブリンク 冬休み若しくは春休みの平日(開館前)に開催	子供	第4四半期 1回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
11	【初心者・初級者向け 大人のためのスケート教室(短期教室)】 対象：18歳以上／期間：3日間 時間：60分間／場所：サブリンク 大会・イベントが開催されない土曜日・日曜日・祝日に実施	働き盛り世代 女性 高齢者	第4四半期 1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
12	【キッズ・ジュニア向け アスリートスケートレクチャー】 対象：小・中学生の競技志向者とスケート愛好者 時間：60分間／場所：メインリンク ※本書No.13と同時開催 トップ選手の経験や技術に触れ、スケートの振興に寄与します	子供	第4 四半期 1回	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
13	【アスリートスケートレクチャー(アダルト)】 対象：高校生以上、競技志向者とスケート愛好者 時間：60分間／場所：メインリンク ※本書No.12と同時開催 トップ選手の経験や技術に触れ、スケートの振興に寄与します	働き盛り世代	第4 四半期 1回	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
14	【競技力向上支援プログラム(自主練サポート)】 対象：小学生以上の競技志向者とスケート愛好者 時間：60分間／場所：メインリンク 個人利用の前又は後の1時間を少人数で使用(曲を流して練習)	子供 働き盛り世代	各四半期 4回	10		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。		総合計	実施回数	参加人数	支出合計①				
			27	495	収入合計②				

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和8年度(2026年度)]

◆ 内 容

単位：円

NO	事業名及び内容	対象層	時期	1事業当たり		収支計画			
			回数	定員	参加料/人				
1	【 初心者向け キッズスケート体験会 】 対象:4歳～未就学児 時間:45分間／場所:サブリンク 大会・イベントが開催されない土曜日・日曜日・祝日に実施	幼児	第3・第4 四半期 2回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	【 初心者向け ジュニアスケート体験会 】 対象:小学生～高校生 時間:60分間／場所:サブリンク 大会・イベントが開催されない土曜日・日曜日・祝日に実施	子供	第3・第4 四半期 2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
3	【 初心者対象 大人のためのスケート体験会 】 対象:18歳以上 時間:60分間／場所:サブリンク 大会・イベントが開催されない土曜日・日曜日・祝日に実施	働き盛り世代 女性 高齢者	第3・第4 四半期 2回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
4	【 親子で楽しむスケート体験会 】 対象:4歳～小学生とその保護者 時間:60分間(+60分自由滑走)／場所:サブリンク 滑る体験、補助具やレクリエーション的要素を入れて楽しむ	子供 働き盛り世代 女性	第4四半 期 1回	40 (20組)		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
5	【 障害のある方向け スケート体験交流会 】 対象:障者者とその付添者 時間:45～60分間／場所:サブリンク 滑る体験、補助具やレクリエーション的要素を入れて楽しむ	障害者	第3四半 期 1回	10組		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
6	【 ジュニアのためのカーリング体験教室 】 対象:小学校高学年～高校生 時間:120分間／場所:サブリンク 本書No.7と同時開催	子供	第4四半 期 1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
7	【 大人のためのカーリング体験教室 】 対象:18歳以上 時間:120分間／場所:サブリンク 本書 No.6と同時開催	働き盛り世代 女性 高齢者	第4四半 期 1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
8	【 アイスホッケー体験・交流教室 】 対象:小学生以上でスケートを滑れる方 時間:90分間／場所:サブリンク 冬休み若しくは春休み期間中に開催	子供 働き盛り世代	第4四半 期 1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※

9	【 初心者・初級者向け 幼児・児童スケート教室(短期教室) 】 対象:4歳～小学校低学年／期間:3日間 時間:45分間／場所:サブリンク 冬休み若しくは春休みの平日(開館前)に開催	幼児、子供	第4四半期 1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
10	【 初心者・初級者向け ジュニアスケート教室(短期教室) 】 対象:小学校高学年～高校生／期間:3日間 時間:60分間／場所:サブリンク 冬休み若しくは春休みの平日(開館前)に開催	子供	第4四半期 1回	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
11	【 初心者・初級者向け 大人のためのスケート教室(短期教室) 】 対象:18歳以上／期間:3日間 時間:60分間／場所:サブリンク 大会・イベントが開催されない土曜日・日曜日・祝日に実施	働き盛り世代 女性 高齢者	第4四半期 1回	20		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
12	【 キッズ・ジュニア向け アスリートスケートレクチャー 】 対象:小・中学生の競技志向者とスケート愛好者 時間:60分間／場所:メインリンク ※本書No.13と同時開催 トップ選手の経験や技術に触れ、スケートの振興に寄与します	子供	第4 四半期 1回	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
13	【 アスリートスケートレクチャー(アダルト) 】 対象:高校生以上、競技志向者とスケート愛好者 時間:60分間／場所:メインリンク ※本書No.12と同時開催 トップ選手の経験や技術に触れ、スケートの振興に寄与します	働き盛り世代	第4 四半期 1回	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
14	【 競技力向上支援プログラム(自主練サポート) 】 対象:小学生以上の競技志向者とスケート愛好者 時間:60分間／場所:メインリンク 個人利用の前又は後の1時間を少人数で使用(曲を流して練習)	子供 働き盛り世代	各四半期 4回	10		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
15	【 夏休み バックヤード見学ツアーとスケート体験 】 対象:小学生以上／実施日:土曜日 or 日曜日 時間:90分間／場所:メインリンク・サブリンク・バックヤード ※整氷車・保護マット・カーリング競技の説明と簡易レッスン	子供 働き盛り世代	第2四半期 3回	15		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
16	【 観戦招待事業 】 対象:全ての方 ※大会の無料、有料に関わらず実施 ※競技主催団体と連携して、大会観戦を斡旋	子供 働き盛り世代 女性 高齢者	第2四半期 1回	50		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
17	【 トップアスリート技術講習 】 対象:18歳以上で指導者を目指す人、競技志向者 時間:60分間／場所:メインリンク／実施日:土曜日、日曜日 各競技団体等と連携し、講師を招いて実施	働き盛り世代 (指導者等)	第2四半期 1回	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※

18	AED・救急法普及啓発講習会(救急法資格等所持者による) 対象:指導者 時間:60分間／場所:会議室 ※緊急時に救急活動を行える指導者等の育成を図ります	働き盛り世代 (指導者等)	第1四半 期	30		支出合計	講師費用	材料費	その他※
	1回								
			収入合計		参加料	協賛金	その他※		
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。		総合計	実施回数	参加人数		支出合計①			
			27	495		収入合計②			

(2) スポーツの日記念事業

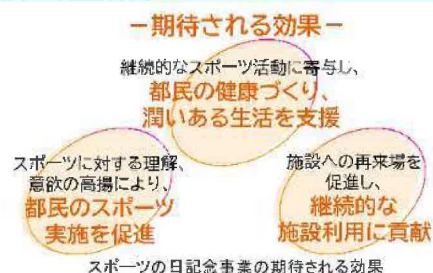
スポーツの魅力を体感できる多様なプログラムを提供し、スポーツの理解と関心を深め、意欲の高揚を図ります

- 施設の特性を活かしたコンテンツ展開により、スポーツの魅力を体感できます
- 幅広い人が参加できる、多様なスポーツ体験プログラムを提供します

1 スポーツの日記念事業の実施方針

スポーツの理解・関心、意欲を高め、継続に寄与する事業を展開

- ・スポーツ基本法及び当施設の管理運営基準を踏まえ、都民が広くスポーツについての理解と関心を深め、積極的にスポーツをする意欲の高揚に向け取り組みます。
- ・様々な年齢の方々に、多様なスポーツ体験の場を提供し、スポーツを始めるきっかけ、継続的なスポーツ実践意欲を促進する契機となるよう取り組みます。
- ・事業参加による当施設の理解、氷上スポーツを含めたスポーツの魅力の理解を促し、その後の施設利用につなげていきます。



2 具体的なプログラム展開

施設の特性を活かし、スポーツの魅力を体感できる多様なプログラムを提供

展開①氷上スポーツ、アイスリンク施設の魅力を体感

- ・事業当日は個人使用施設としてアイスリンク（メインリンク、サブリンク）を無料開放し、経験や年齢を問わず多くの方々にアイススケートの魅力や楽しさを体感する場を提供します。また、初心者向けのアイススケート教室を実施し、普段スポーツをしない人、アイススケート初心者、家族連れなどに対して安全な滑走方法をアドバイスすることで訴求し、イベント後の再来場、施設利用を促進します。
- ・カーリングやアイスホッケーなど、氷上スポーツの体験プログラムを実施し、氷上を滑る楽しさや氷上スポーツの奥深さなどを体感する機会を提供することで、競技の魅力や当施設の特長を発信し、スポーツへの興味・関心を高め、スポーツ意欲を促進します。
- ・オリンピック・パラリンピアンによるフィギュアスケートや車いすカーリング等のデモンストレーション、トークイベント等を実施し、トップアスリートの競技レベルや魅力に触れる機会を提供します。「みる」スポーツを通じて更なる来場を促し、スポーツの魅力を発信します。

展開②多様なスポーツ体験機会等の提供

- ・様々な年齢層の方々が障害の有無を問わずに参加できる多様なプログラムを、アイスリンク外（多目的室など）も活用して実施します。レクリエーションスポーツ等の中から、スポーツになじみの薄い人でも気軽に参加可能なプログラム（ボッチャやヨガなど）を提供し、継続的なスポーツ実施を促進します。
- ・東京2020大会のレガシーとして、旧施設（東京辰巳国際水泳場）からの変遷や東京2020大会競技会場時の様子を紹介するコーナーを設けます。パネルや関連資料等の展示により情報発信し、当施設の理解促進を図ります。また、2025年11月に開催される第25回夏季デフリンピック競技大会の気運醸成に向けてPRコーナーを出展します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題3-1(2)別表 スポーツの日記念事業の事業実施計画[令和7年度(2025年度)]

◆ 内 容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期	1事業当たり		収支計画			
			回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	【開業イベント】別紙3-1(3)にて	全世代	9月 1回	1,000					
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	【スポーツの日記念事業】 スポーツの日において、都民の間に広くスポーツについての理解と関心を深め、かつ積極的にスポーツをする意欲の高揚するような事業を実施する。施設の特性を活かしたプログラムなどを含め、様々な年齢層の方々が多様なスポーツ体験ができる機会を提供する。各種目において、参加者がより楽しめるように、デジタルサイネージによる説明案内の掲出やスタッフ＆講師によるワンポイント指導などを随時実施し、併せて当日の個人使用については無料開放を行う。なお、収入は事業費(その他)を充てて賄う。	全世代	10月 1回	1,000					
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
3									
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
4									
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。		総合計	実施回数	参加人数		支出合計①			
			2	2,000		収入合計②			

提案課題3-1(2) 別表 スポーツの日記念事業の事業実施計画[令和8年度（2026年度）]

◆ 内 容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人				
1	【スポーツの日記念事業】 スポーツの日において、都民の間に広くスポーツについての理解と関心を深め、かつ積極的にスポーツをする意欲の高揚するような事業を実施する。施設の特性を活かしたプログラムなどを含め、様々な年齢層の方々が多様なスポーツ体験ができる(する・みる)機会を提供する。各種目において、参加者がより楽しめるように、デジタルサイネージによる説明案内の掲出やスタッフ＆講師によるワンポイント指導などを随時実施し、併せて当日の個人使用については無料開放を行う。	全世代	10月 1回	1,000		支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
2						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
3						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
4						支出合計	講師費用	材料費	その他※
						収入合計	参加料	協賛金	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。		総合計	実施回数	参加人数		支出合計①			
			1	1,000		収入合計②			

(3) 開業イベント

施設の開業に合わせて、都立スポーツ施設初のアイスリンクを体感いただくプログラムを展開し、ウインタースポーツの魅力を発信します

- 開業イベントにふさわしい著名アスリートによるデモンストレーションを展開し、来場者にウインタースポーツの迫力を体感いただきます
- スポーツ体験教室を実施し、都民にウインタースポーツに触れる機会を提供します
- 東京都主催で実施する開業式典と連携し、円滑にイベントを運営します

1 開業イベントの実施方針

スポーツの理解・関心、意欲を高め、継続に寄与する事業を展開

- ・当施設の供用開始に合わせて、ウインタースポーツの素晴らしさや楽しさを体感できるイベントを実施します。施設の魅力に触れていただくため、アスリートによるデモンストレーション観覧のほか、スポーツ体験教室や個人利用の無料開放を実施し、継続的な施設利用の契機となるプログラムを展開します。
- ・東京都が主催する開業式典と連携し、相互の式典やイベントが円滑に実施されるよう適切に運営を行うとともに、開業イベントを通じて当施設の開業が広く周知されるよう取り組みます。

2 具体的な実施計画

開業イベントとして、ウインタースポーツの魅力を発信するためのプログラムを提供

展開①【アスリートによる複数種目のデモンストレーションを展開】

- ・フィギュアスケート、アイスホッケー、ショートトラックの種目の中から選定した著名アスリートを招聘し、メインリンク内でデモンストレーションを行います。来場者に観覧いただき、トップアスリートの競技レベルを体感いただきます。
- ・パラアスリートを招聘しアイスホッケーのデモンストレーションを実施して来場者に観覧いただき、パラスポーツの素晴らしさとアイスホッケーの迫力を伝えます。
- ・デモンストレーションの間には整水車によるアイスリンクの整備を行い、アイスリンクの良好なコンディションを確保するよう努めるとともに、短時間に整水する様子を来場者に見ていただくことで、アイススケート施設の理解促進につなげていきます。

展開②【スポーツ体験教室をメインリンク及びサブリンクで提供】

- ・メインリンクでは、デモンストレーションに参加したアスリート及びパラアスリートに引き続き体験教室に参加いただき、初心者向けの体験教室を複数種目で実施します。
- ・メインリンク内を複数のエリアに分割して実施するとともに、体験教室の実施時間を複数回設けるなど、多くの方に参加いただけるよう運営方法を工夫して行います。
- ・サブリンクではカーリングの体験教室を実施し、多くの方にカーリングの楽しさを体験いただくとともに、当施設でカーリング種目が実施可能であることのPRを図ります。

展開③【にぎわいのある開業イベントとして、その他プログラムを展開】

- ・メインリンクでのデモンストレーション及び体験教室、サブリンクでは体験教室をそれぞれ開業イベントの前半として実施し、終了後は、アイスリンクの無料開放を行います。ご来場者がスケートを体感することで、その楽しさの理解を促し、開業イベント後の再来場を促進します。
- ・メインリンク及びサブリンク以外の多目的室や空きスペースを活用し、レクリエーション種目の体験プログラムを複数実施し、気軽にスポーツを楽しめる場を提供します。
- ・東京2020大会のレガシーとして、旧施設（東京辰巳国際水泳場）からの変遷や東京2020大会競技会場時の様子を紹介するコーナーを設けます。パネルや関連資料等の展示により情報発信し、当施設の理解促進を図ります。また、2025年11月に開催される第25回夏季デフリンピック競技大会の気運醸成に向けてPRコーナーを出展します。
- ・施設の屋外スペースには飲食が楽しめるゲーティングカーを複数台設置し、来場者に飲食可能な場を提供することで「お祭り気分」を促進します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

開業式典と連携するとともに、イベントの広報や来場者募集、報道対応を適切に実施

展開①【開業式典と連携し、多様な来場者に適切な案内を実施】

- ・開業式典を主催する東京都関係部署と事前調整を図り、式典時に必要となる諸室の確保や式典参加者及び車両の動線確保、総合案内窓口の設置などを積極的に準備します。
- ・障害のある人の来場を想定し、手話・筆談対応職員の配置、車いす動線の確保など、開業式典のニーズに合わせた対応を検討します。

展開②【十分な周知期間を確保したイベント広報と事前募集を実施】

- ・イベント開催に関する**広報は、開催の約2か月前から実施**します。プレスリリースをはじめ、その後はHPやSNS媒体での告知、地元自治体や都内スポーツ施設等でのチラシ及びポスターの配布・掲出等によりイベントのPRを行います。
- ・東京都の広報媒体などを一部活用した広報についても、東京都との調整によりあわせて検討します。加えて、本イベントにて東京都等が実施するスポーツイベントの広報に協力するなど、関係イベントの広報に関して相乗効果を図ります。
- ・来場者の事前募集が必要となるプログラムについては、開催のプレスリリースと同時期に申込受付を開始するとともに、応募者多数の場合は抽選及び抽選結果の通知を行います。

展開③【報道関係者に対する適切な案内及び当日対応】

- ・イベントの開催前には、取材案内のプレスリリースを行い、取材の事前受付を行います。
- ・イベント当日においては、受付時に安全に取材するための注意事項や取材方法を報道関係者に周知して対応します。また、インタビューは、窓口となる施設長が対処することで本イベントの広報と当施設の魅力発信に努めます。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題3-1(3)別表 開業イベントの事業実施計画

◆ 内 容

単位：千円

全体のコンセプト及びイベント内容	番号	各イベント	期間	1イベント当たり	
			回数	定員(あれば)	参加料/人
【全体のコンセプト】 ・本施設の供用開始に合わせて、ウインタースポーツの素晴らしさや楽しさを体感できるイベントを実施 【イベント内容】 ・アスリートによる複数種目のデモンストレーションを展開 ・スポーツ体験教室の実施を通じてウインタースポーツに触れる機会を提供 ・アイスリンクの無料開放、空きスペースを活用したレクリエーション種目体験、飲食が楽しめるケータリングカー設置など ・開業式典と連携し、イベントの広報や来場者募集、報道対応を適切に実施	1	著名アスリートによるデモンストレーション		2,000	
			9月		
			1回		
	2	体験教室		200	
			9月		
			1回		
	3	個人利用の無料開放		1,200	
			9月		
			1回		
	4	その他イベント (レクリエーション体験、PRブース等)		200	
			9月		
			1回		
	5	飲食ブース等			
			9月		
			1回		

※ 収入合計及び支出合計は提案課題3-1(2)別表 スポーツの日記念事業の事業実施計画
[令和7年度(2025年度)]の1項目として反映させること。

総参加人数

3,600

収支計画	
収入	支出

(4) 自主事業

当施設において都民の新たなニーズを掘り起こし、「生涯スポーツの提供」を行い都民のスポーツ実施率 70%の達成に寄与します

- 氷上スポーツ種目を中心に、都民に新たなスポーツ種目実施の機会を提供します
- 「スポーツ振興事業」と連動し、初心者の方々にスポーツが継続できる体制を構築します
- 都民の個々のニーズに合わせることを目的に、パーソナル指導を提供します

1 事業の実施方針

都民の多様なニーズを喚起し、生涯スポーツのすそ野を拡大

① スポーツ振興事業から発展した、定期的に参加できる教室を開催

- ・「スポーツ振興事業」を実施し、その集客状況やアンケート結果から「都民のニーズ・ウォンツ」を把握し、その内容を反映した自主事業の教室を行います。
- ・継続した教室参加を促進するため、カテゴリー毎に中級者対象の教室も設置して、広い受け皿を設けて計画的な参加・上達を促進します。
- ・特にスケート教室においては、フィギュアスケートのスキル上達を段階的に習得する「**進級基準**」を設けて、受講生の上達の度合いを客観的に明確にするとともに、先の「目標」を明確にすることで上達しようとするモチベーションを維持する指導を提供します。
- ・教室講師は各種目関係団体と連携して講師を確保するとともに、別途事業者が直接雇用することにより講師の育成・管理を行い、教室の**指導内容について品質の維持向上に注力**します。
- ・自主事業の集客については、館内掲出による案内・ホームページでの案内・館内利用者やスポーツ振興事業等参加者へのハンティングチラシの配布を主なルートとし、また施設周辺での地域誌への広告掲載やチラシの戸別配布なども併用して、各教室の定員集客に努めます。

② 誰もが継続できる「すべての人に寄り添った」事業を行い、都民の健康増進を促進

- ・新しい施設であるため、各種目とも特に初心者対象の教室（「はじめて参加するアイススケート教室」等）を充実させ、多様な対象に対して多種多様な教室を実施します。
- ・フィギュアスケート教室やアイスホッケー教室、カーリング教室など子供から大人まで、そして障害のある方に対しても多種多様な教室を行う事で選択肢を多数提案します。
- ・受講料については、都立の施設であることを鑑み、都内のリンクの中では比較的安価に設定する事で受講生の「**通いやすさ**」や「**続けやすさ**」に貢献します。
- ・教室は基本的に月次で指導を行います。が、「練習に続けて参加できるか心配」という方のために、直接教室に参加して体験していただく「**1回体験**」制度も行い、継続受講を十分検討していただけるように運営します。
- ・また年齢のカテゴリー別に、徐々に「中級者向け」教室へも誘致し、上達する楽しみを実感し、同じ趣味を共有する仲間づくりが促進されるよう指導員が積極的に関与していく教室づくりを行います。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

2 生涯スポーツとして「スケート」を始める（再開）きっかけ作りに注力

スケートから離れていた方に「スケートカムバック教室」を実施

- ・以前、アイススケートを継続的に行っていたが「数年以上、全然スケートをやっていない」などのスケート経験者の方に、スケーティングスキルを思い出して、再度継続的に当施設をご利用いただけるようになるための教室を実施します。
- ・大人の方においては特に安全面に配慮して、ヘルメット・肘&膝当てプロテクターの無料貸出しにより、安心して参加いただける環境を提供します。
- ・カーリングなどの他種目の紹介や体験を誘致して「新たな種目へのチャレンジ」を促進します。多様な種目を友人、グループ、家族などと一緒に楽しんでもらえるようにコミュニケーションの醸成を重視した事業運営を行います。

3 競技力の向上&希望者にフォーカスした「パーソナル指導」を提供

利用者各々のニーズ・ウォンツに対応したきめ細かな指導

- ・中上級者で個人的に集中してスキル練習（競技力の向上）をしたい方や、1対1または少人数制で**パーソナル指導**を行います。
- ・昨今、アイススケートに限らずトレーニングやダイエット、水泳、体操、かけっこ、球技などでも1対1のパーソナル指導のシェアが拡大しています。当社は、競技力の向上や早い上達を目指す利用者に対して、パーソナル指導を提供します。
- ・休日などグループでの利用が多い日には、「家族」や「友達」「グループ」など少人数の方を対象に、「少し習ってみたい、少し教えて欲しい」のニーズに対応して、指導員が指導を行いません。
- ・利用に際しては事前予約を受け付けますが、施設で当日受付も行い、「教えて欲しい時に教われる」施設独自のサービスとして、利用者の満足度向上に寄与します。
- ・パーソナル指導にあたる指導員は経験豊富である事は勿論、フィギュアスケートにおいては日本フィギュアスケーティングインストラクター協会の指導員が担当するなど、指導の質に拘った指導を提供します。

4 多目的室を使用した教室を実施

アイスリンクの活動に止まらず、多目的室等を競技力の向上に活用

- ・氷上の教室に限らず、多目的室等を活用した教室を実施します。
- ・アイススケートリンクでフィギュアスケートの愛好家が増える事を念頭に、また競技力の向上をサポートする上で、大人・子供の「バレエ教室」を開講します。
- ・ケガの防止や柔軟性の向上、そして表現力を強化するためにバレエのレッスンを継続的（月1回）に行える環境を整備します。
- ・「体操教室」等、多様なニーズに対応できる教室を実施します。
- ・また、フィギュアスケートの団体等が合宿を行う時には、バレエの指導員を派遣する等して、多目的室の利用を活性化します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題3-1(4)別表 自主事業の事業実施計画[令和7年度(2025年度)]

◆ 内 容

単位：円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員	参加料/人					
			観客数	入場料					
1	【 初心者・初級者向け 火曜キッズスケート教室 】 対象:4歳～未就学児／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:16:00～16:45／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	半年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	【 初心者・初級者向け 火曜ジュニアスケート教室 】 対象:小中高生／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:17:00～18:00／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	半年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	【 初心者・初級者向け 火曜アダルトスケート教室 】 対象:18歳以上／週1回 登録曜日に受講・月会費制 実施日:10:00～11:00／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	半年	15		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	【 初心者・初級者向け 水曜キッズスケート教室 】 対象:4歳～未就学児／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:16:00～16:45／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	半年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	【 初心者・初級者向け 水曜ジュニアスケート教室 】 対象:小中高生／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:17:00～18:00／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	半年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
6	【 初心者・初級者向け 木曜アダルトスケート教室 】 対象:18歳以上／週1回 登録曜日に受講・月会費制 実施日:10:00～11:00／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	半年	15		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	【 中級者向け 火曜キッズスケート教室 】 対象:4歳～未就学児(指導員承認者対象)／週1回受講・月会費制 時間:18:15～19:15／場所:メインリンク 本書 No.8と同時開催／その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	半年	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	

8	【 中級者向け 火曜ジュニアスケート教室 】 対象:小中高生(指導員承認者対象)/週1回受講・月会費制 時間:18:15～19:15/場所:メインリンク 本書 No.7と同時開催/その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	半年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
9	【 中級者向け 水曜キッズスケート教室 】 対象:4歳～未就学児(指導員承認者対象)/週1回受講・月会費制 時間:18:15～19:15/場所:メインリンク 本書 No.10と同時開催/その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	半年	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
10	【 中級者向け 水曜ジュニアスケート教室 】 対象:小中高生(指導員承認者対象)/週1回受講・月会費制 時間:18:15～19:15/場所:メインリンク 本書 No.9と同時開催/その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	半年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
11	【 中級者向け 木曜アダルトスケート教室 】 対象:18歳以上(インストラクター承認者対象)/週1回受講・月会費制 実施日:8:45～9:45/場所:メインリンク その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	半年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
12	【 日曜日 みんなでスケート教室 】 対象:全ての方 実施日時:日曜日 8:45～9:45/場所:メインリンク/月会費制 ※月1回、体験デー実施/その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	半年	100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		18	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
13	【 スケートカムバック教室 】 対象:以前スケートを楽しんでいたが何年かスケートから離れていた人 時間:60分間(平日午前)/場所:サブリンク ※月に1回実施正しいスキルを思い出し、習得して頂く教室	半年	15		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		6	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
14	【 パーソナルレッスン 】 対象:個人や家族単位でのレッスン希望者 時間:15分間(連続可)/場所:メイン&サブリンク(レベルに応じて)	半年	1		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
15	【 木曜キッズバレエ教室 】 対象:4歳～未就学児/週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:16:00～16:45/場所:多目的室 ※月に1回、体験デーを設ける	半年	15		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	

16	【 木曜ジュニアバレエ教室 】 対象:小中高生／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:17:00～18:00／場所:多目的室 ※月に1回、体験デーを設ける	半年	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
17	【 水曜アダルトバレエ教室 】 対象:18歳以上／週1回 登録曜日に受講・月会費制 実施日:10:00～11:00／場所:多目的室 ※月に1回、体験デーを設ける	半年	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
18	【 水曜体操教室 】 対象:幼児・小学生／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:17:00～18:00／場所:多目的室 ※月に1回、体験デーを設ける	半年	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の7年度の数額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。		総合計	実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
			222	6,930	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③－②)	

提案課題3-1(4)別表 自主事業の事業実施計画[令和8年度（2026年度）]

◆ 内 容 単位：円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員	参加料/人					
			観客数	入場料					
1	【 初心者・初級者向け 火曜キッズスケート教室 】 対象:4歳～未就学児／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:16:00～16:45／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	通年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	【 初心者・初級者向け 火曜ジュニアスケート教室 】 対象:小中高生／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:17:00～18:00／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	通年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	【 初心者・初級者向け 火曜アダルトスケート教室 】 対象:18歳以上／週1回 登録曜日に受講・月会費制 実施日:10:00～11:00／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	通年	15		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	【 初心者・初級者向け 水曜キッズスケート教室 】 対象:4歳～未就学児／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:16:00～16:45／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	通年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	【 初心者・初級者向け 水曜ジュニアスケート教室 】 対象:小中高生／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:17:00～18:00／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	通年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
6	【 初心者・初級者向け 木曜アダルトスケート教室 】 対象:18歳以上／週1回 登録曜日に受講・月会費制 実施日:10:00～11:00／場所:サブリンク ※月に1回、体験デーを設ける	通年	15		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	

7	【 中級者向け 火曜キッズスケート教室 】 対象:4歳～未就学児(指導員承認者対象)/週1回受講・月会費制 時間:18:15～19:15/場所:メインリンク 本書 No.8と同時開催/その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	通年	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	【 中級者向け 火曜ジュニアスケート教室 】 対象:小中高生(指導員承認者対象)/週1回受講・月会費制 時間:18:15～19:15/場所:メインリンク 本書 No.7と同時開催/その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	通年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
9	【 中級者向け 水曜キッズスケート教室 】 対象:4歳～未就学児(指導員承認者対象)/週1回受講・月会費制 時間:18:15～19:15/場所:メインリンク 本書 No.10と同時開催/その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	通年	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
10	【 中級者向け 水曜ジュニアスケート教室 】 対象:小中高生(指導員承認者対象)/週1回受講・月会費制 時間:18:15～19:15/場所:メインリンク 本書 No.9と同時開催/その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	通年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
11	【 中級者向け 木曜アダルトスケート教室 】 対象:18歳以上(インストラクター承認者対象)/週1回受講・月会費制 実施日:8:45～9:45/場所:メインリンク その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	通年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		36	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
12	【 日曜日 みんなでスケート教室 】 対象:全ての方 実施日時:日曜日 8:45～9:45/場所:メインリンク/月会費制 ※月1回、体験デー実施/その他費用は時間外受付・貸靴業務人件費	通年	100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		24	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
13	【 スケートカムバック教室 】 対象:以前スケートを楽しんでいたが何年かスケートから離れていた人 時間:60分間(平日午前)/場所:サブリンク ※月に1回実施正しいスキルを思い出し、習得して頂く教室	通年	15		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		12	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	

14	【 パーソナルレッスン 】 対象:個人や家族単位でのレッスン希望者 時間:15分間(連続可)／場所:メイン&サブリンク(レベルに応じて)	通年	1		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
15	【 木曜キッズバレエ教室 】 対象:4歳～未就学児／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:16:00～16:45／場所:多目的室 ※月に1回、体験デーを設ける	通年	15		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
16	【 木曜ジュニアバレエ教室 】 対象:小中高生／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:17:00～18:00／場所:多目的室 ※月に1回、体験デーを設ける	通年	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
17	【 水曜アダルトバレエ教室 】 対象:18歳以上／週1回 登録曜日に受講・月会費制 実施日:10:00～11:00／場所:多目的室 ※月に1回、体験デーを設ける	通年	20		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
18	【 水曜体操教室 】 対象:幼児・小学生／週1回 登録曜日に受講・月会費制 時間:17:00～18:00／場所:多目的室 ※月に1回、体験デーを設ける	半年	30		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		随時	0		収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の8年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、		総合計	実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
			432	12,660	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③－②)	

(5) 周辺連携事業

他の都立スポーツ施設とのネットワークや周辺施設、地域と連携し、地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上・活性化を図ります

- 「TOKYO レガシービジョン」など施策を踏まえ、各種取組みを展開します
- 周辺施設や地域をはじめ、臨海エリアへの広がりを視野に連携を進めます

1 周辺連携事業の基本方針

- ・「TOKYO レガシービジョン」等を踏まえ、他の都立スポーツ施設とのネットワークや周辺施設・地域との連携の拡大を図りながら取組みを進めます。
- ・周辺施設や地域と連携し、にぎわいの創出、地域からのスポーツ振興を図ります。
- ・地域教育機関との交流やアクセス向上等の取組みを進め、地域の魅力向上や活性化を推進します。

地域からのスポーツ振興、地域の魅力向上、活性化



周辺施設や地域等とのネットワーク・連携による取組みの推進

2 具体的な取組み（収支計画が可能な事業）

にぎわいの創出、地域からのスポーツ振興に向けた取組み

- ・隣接公園や、の指定管理者と連携し、ボッチャやモルック等の「ニュースポーツ」や「ヨガ」のイベントを実施します。にぎわいの創出とともにスポーツ実施率の低い層への訴求を図り、地域からのスポーツ振興を図ります。
- ・地元小中学校等と連携し、スケートを体験する校外学習の受入を行います。東京では接することの少ない体験の場を提供し、競技の魅力の理解、氷上スポーツの裾野拡大を図ります。

多様な取組みを推進し、地域の魅力向上や活性化に寄与

- ・と連携し、シェアサイクルやシェアボードポート等を設置し、周辺地域との回遊性を高め、当施設及び公園等の利用増につなげます。また、アクセスの向上を図ります。
- ・地元教育機関と連携し、職場体験や社会科見学等の受入など、教育活動への積極的な協力を行っていきます。
- ・地域清掃を兼ねた「地域クリーンウォーキング」を行い、地域との交流、参加者間の交流を促進します。
- ・他の都立施設や隣接公園と連携し、「相互情報発信」を行います。各施設のイベント情報等を相互に発信することで、既存利用者以外の方に訴求し、新たな利用者の開拓、相互利用を促進します。
- ・隣接公園やとの連携を進める基盤として「定期的な連絡会」を行うほか、災害時の情報伝達等のため「合同訓練」を実施し、地域の防災機能、安全性の向上に努めます。

【構想段階の事業について】

- ・小学生によるクリスマスツリー飾り付け会、フォトスポットとしてのイルミネーション装飾など、ウインターシーズンの彩り、地域の魅力向上等につながる取組みを検討していきます。
- ・など、近隣イベントとの連携など、地域のにぎわいを一層推進する取組みを模索していきます。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題3-1(5) 別表 周辺連携事業の事業実施計画[令和7年度(2025年度)]

◆ 内 容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員 観客数	参加料/人 入場料					
1	【 ニュースポーツイベント 】 と連携し、 ニュースポーツの体験イベントを実施する。子供から大人まで誰もが 気軽にできる種目特性を生かし、にぎわいの創出、地域からのスポー ツ振興を図る。	第3 四半期	1,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	【 地域クリーンウォーキング 】 近隣公園を含めた周辺地域において、ウォーキングを兼ねた清掃活 動を と連携して実施する。楽しみながら美 化を図り、地域の交流を促進することで、地域の魅力向上・活性化に 繋げていく。	第4 四半期	50		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	【 合同訓練による防災・安全性の向上 】 と連携し、発 災時に備える合同訓練を実施する。情報伝達訓練や防災訓練等によ り、発災時の適切な対応、安全性の向上を図る。	第4 四半期	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	【 定期的な連絡会(連絡会を通じた周辺施設との連携) 】 と連携し、今 後の行事や管理運営等を確認する連絡会を実施する。隣接施設との 連携強化とともに、利用者に必要な情報を提供するなど、効果的な施 設運営に繋げていく。	第3・4 四半期	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		4回 程度	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	【 周辺施設との相互情報発信 】 他の都立スポーツ施設等と連携し、デジタルサイネージでの放映やパ ンフレット設置、パネル展示等により、各施設の魅力や催物情報を相 互に発信する。各施設とのネットワークづくりとともに、既存利用者以 外の方へ訴求し、相互利用や新たな利用者の開拓を図る。	通年	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
			—		収入合計	参加料	入場料	その他※	

6	【 近隣教育機関等との交流(施設についての理解促進) 】 近隣の教育機関等と連携し、本施設の見学や職場体験などを受け入れ、教育活動への積極的な協力を行う。地元教育機関等との連携強化とともに、児童、生徒等に本施設の設置目的等の理解を促し、地域に親しまれる施設となるよう取り組んでいく。	随時	—	—	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	【 近隣学校等の校外学習(スケート体験)の受入れ 】 近隣小、中学校等と連携し、スケートを体験する校外学習の受入を実施する。スケートの魅力の理解を促し、氷上スポーツの裾野拡大を図ります。、(施設の提供での個人使用時間における受入のため、収支は本計画では未計上)	随時 (繁忙期を除く)	—	—	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	【 自転車駐輪場の運営(シェアサイクルorボードの運用) 】 アクセシビリティ向上を目的に、無料の駐車場及びシェアサイクル・ボードポートを設置する。本施設及び周辺施設へのアクセス向上を図り、相互利用の促進、地域の活性化の寄与する。(利用者に対するサービス提供事業の再掲のため、収支は本計画では未計上)	通年	—	—	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の7年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。		総合計	実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
			7回	1,050	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③－②)	

提案課題3-1(5)別表 周辺連携事業の事業実施計画[令和8年度(2026年度)]

◆ 内 容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画				
			定員	参加料/人					
			観客数	入場料					
1	【 ニュースポーツイベント 】 と連携し、 ニュースポーツの体験イベントを実施する。子供から大人まで誰もが気軽にできる種目特性を生かし、にぎわいの創出、地域からのスポーツ振興を図る。	第3 四半期	1,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	【 ヨガイベント 】 と連携し、 ヨガイベントを実施する。若年層にも人気の高い種目のため、スポーツ実施率の低い層へ訴求し、地域からのスポーツ振興を図る。(参加料は連携先の収入となるため未計上)	第2 四半期	100		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回			収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	【 地域クリーンウォーキング 】 と連携し、 近隣公園を含めた周辺地域において、ウォーキングを兼ねた清掃活動を と連携して実施する。楽しみながら美化を図り、地域の交流を促進することで、地域の魅力向上・活性化に繋げていく。	第4 四半期	50		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	【 合同訓練による防災・安全性の向上 】 と連携し、発 災時に備える合同訓練を実施する。情報伝達訓練や防災訓練等により、発災時の適切な対応、安全性の向上を図る。	第4 四半期	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		1回	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	【 定期的な連絡会(連絡会を通じた周辺施設との連携) 】 と連携し、今 後の行事や管理運営等を確認する連絡会を実施する。隣接施設との連携強化とともに、利用者に必要な情報を提供するなど、効果的な施設運営に繋げていく。	通年	—		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
		6回 程度	—		収入合計	参加料	入場料	その他※	

6	【 周辺施設との相互情報発信 】 他の都立スポーツ施設等と連携し、デジタルサイネージでの放映やパンフレット設置、パネル展示等により、各施設の魅力や催物情報を相互に発信する。各施設とのネットワークづくりとともに、既存利用者以外の方へ訴求し、相互利用や新たな利用者の開拓を図る。	通年	—	—	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
7	【 近隣教育機関等との交流(施設についての理解促進) 】 近隣の教育機関等と連携し、本施設の見学や職場体験などを受け入れ、教育活動への積極的な協力を行う。地元教育機関等との連携強化とともに、児童、生徒等に本施設の設置目的等の理解を促し、地域に親しまれる施設となるよう取り組んでいく。	随時	—	—	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
8	【 近隣学校等の校外学習(スケート体験)の受入れ 】 近隣小、中学校等と連携し、スケートを体験する校外学習の受入を実施する。スケートの魅力の理解を促し、氷上スポーツの裾野拡大を図ります。、(施設の提供での個人使用時間における受入のため、収支は本計画では未計上)	随時 (繁忙期を除く)	—	—	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
9	【 自転車駐輪場の運営(シェアサイクルorボードの運用) 】 アクセシビリティ向上を目的に、無料の駐車場及びシェアサイクル・ボードポートを設置する。本施設及び周辺施設へのアクセス向上を図り、相互利用の促進、地域の活性化の寄与する。(利用者に対するサービス提供事業の再掲のため、収支は本計画では未計上)	通年	—	—	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の8年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。		総合計	実施回数	参加人数	繰入額①			収入総合計③	
			10回	1,150	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③－②)	

(6) 利用者に対するサービス提供事業

『スポーツを「する」「みる」「支える』すべての人に寄り添った施設サービスを提供します

- 利用者ファーストを念頭に、多様化するニーズに応えた充実の利用者サービスを提供します
- 本施設の付加価値を高めるサービスの提供により、利用者の満足度向上を図ります
- 氷上スポーツの裾野を広げる場として安全・安心のためのサービスを提供します

1 実施方針

- ・本施設は、大会等の競技利用に加えて、個人利用や各種事業の実施など、氷上スポーツの体験や親しむ場でもあり、来館者の利用目的も多岐にわたります。
- ・施設利用の目的や利用者ニーズを踏まえたサービスを提供することにより、誰もが利用しやすい、利用したい施設となるよう、以下の方針のもと実施します。

サービス提供事業 実施方針

- 1 気軽かつ快適にスポーツに取り組むことができるよう、氷上スポーツの関わり方に即したサービスを提供します。
- 2 利便性の向上やアクセシビリティの向上など、施設の付加価値を高める環境づくりやサービス提供を図ります。

2 具体的な取組

- ・利用者ファーストを念頭とし、スポーツを「する」「みる」「支える」という様々な関わり方に対し、日常的な氷上スポーツの実施をサポートするサービス展開で、多様化するニーズに対応します。
- ・利便性の向上などにより、本施設の付加価値を高めるサービスを提供していくことで継続的な利用を促していきます。
- ・初心者や初級者が安全に取り組めるサービスを提供し、氷上スポーツを安心して行うための環境づくりを進めます。

サービス提供項目一覧

項 目	サービス内容
FREE Wi-Fi の設置	利用者が無料で使用できる館内 Wi-Fi の設置
個人利用者に向けたレンタル用具の貸出	滑走補助具のレンタル、ヘルメット・サポーターの無料レンタル
ワンコイン体験教室の提供	初心者対象の短時間の体験教室
校外学習等への指導員紹介	校外学習等の集団利用者の要望に応じた指導員を紹介
プライベートロッカーの設置	私物保管用のロッカーの設置
専用利用者向け倉庫の設置	リンクサイドに専用利用をする団体向けの倉庫を設置
スポーツセレクトショップの運営	スケート用品の販売やメンテナンス（主にブレード）を行うプロショップを設置
飲食コーナーの設置	主に自動販売機で提供
自動販売機の設置	飲料・栄養補助食品や『手袋等スケート必需品』の自動販売機の設置 ユニバーサルデザイン、災害支援、キャッシュレスに対応
自転車駐輪場の運営（シェアサイクルの運用）	無料駐輪場及びシェアサイクルポートの設置
無料シャトルバスの運行	・
傘のシェアリングサービス 設置	近隣施設で導入されている傘のシェアリングサービスを導入
充電器シェアリングサービスの設置	近隣施設で導入されているスマートフォン用バッテリースタンドの設置
施設内外での撮影協力	エントランスやベデストリアンデッキを活用し各種撮影への積極的な協力

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題3-1(6)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[令和7年度(2025年度)]

◆ 内 容

単位：円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
1	【 個人利用者に向けたレンタル用具の貸出 】 利用者の利便性及び満足度の向上を目的に、ニーズに合わせた物品(滑走補助具等)を貸出します。料金の支払いは券売機にて行い、貸出しは専用カウンターで行います。貸出し時間は個人利用の時間帯とします。(安全確保の為のヘルメット・肘&膝プロテクターは無料で貸出します)		支出	収入
2	【 体験教室の提供 】 初心者を対象とした体験教室(通年実施、30分/回)を実施します。気軽に参加できる体験教室を行います。親子連れや友人同士などで参加頂き、継続利用を促進します。実施は個人利用の時間帯とします。		支出	収入
3	【 校外学習等への指導員紹介 】 集団利用者を対象とした指導員派遣(60分/回)を行います。利用団体の要望に応じて、指導員を派遣・指導します。技術の向上を促進すると共に、継続利用を促します。実施は個人利用の時間帯とします。		支出	収入
4	【 プライベートロッカーの設置 】 団体及び個人を対象として設置します。用具を収納する為のロッカー・倉庫を購入・設置し、利用者の利便性を向上させます。月極契約とし管理を行います。		支出	収入
5	【 専用利用者向け倉庫の設置 】 専用利用するチーム等の利便性向上のため、必要道具等を保管できる倉庫を設置します。 場所:リンクサイド		支出	収入

6	【 スポーツセレクトショップの運営 】 利用者の利便性及び満足度の向上を目的に、スケート用品（ウェア、ホッケー用品、ブレード研磨等）の販売を行います。営業時間は個人利用の時間帯とし、一部専用利用時にも営業します。		支出	収入
7	【 自動販売機の設置 】 利便性及び満足度向上を目的に、自動販売機を設置する。飲料だけではなく栄養補助食品等も含め、充実した品目を取り揃える。また、ユニバーサルデザインや災害支援機対策機、『手袋』など必需品も取り揃え、キャッシュレス対応機を導入する。利用時間は開館に合わせた24時間とし、利用者の利便性に寄与します。		支出	収入
8	【 自転車駐輪場の運営（シェアサイクル・ボードの運用） 】 「自転車活用推進重点地区」である豊洲地区などからのアクセシビリティ向上を目的に、無料の駐輪場及びシェアサイクル・ボードポートを設置する。設置場所等は東京都と協議して決定する。（一般駐輪とシェアサイクルは各20台の駐輪を目途とし、手狭な場合は一般駐輪の設置を優先とする。）		支出	収入
9	【 無料シャトルバスの運行 】		支出	収入
10	【 傘のシェアリングサービス「 」の設置 】 急な天候変化にも対応できるよう、傘のシェアリングサービスを設置する。 に導入済みのサービスと同一にすることで、相互利用を可能にする。施設利用者だけでなく、本サービス利用者に施設をPRする機会にもつながる。外部事業者提供のサービス利用により運営する。		支出	収入

11	【 充電器シェアリングサービスの設置 】 利便性及び満足度向上を目的に、スマートフォン用バッテリースタンドを設置する。 に導入済みのスタンドと同一にすることで、相互利用を可能にする。利用時間は開館に合わせた24時間とし、外部事業者提供のサービス利用により運営する。		支出	収入
12	【 施設内外での撮影協力 】 多様な施設活用及び本施設のPRを目的に、各種撮影を受け入れる。受入れ場所として、エントランスやペDESTリアンデッキを活用する。原則、一般利用開館時間内及び利用団体や利用者に支障が出ない範囲での受入れとし運営する。		支出	収入
● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。 ● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の7年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画 (2) その他 (G)」と金額が一致すること。			繰入額①	収入合計③
			支出合計② (①を含む。)	差引④(③－②)

提案課題3-1(6)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[令和8年度（2026年度）]

◆ 内 容

単位：円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
1	【 個人利用者に向けたレンタル用具の貸出 】 利用者の利便性及び満足度の向上を目的に、ニーズに合わせた物品(滑走補助具等)を貸出します。料金の支払いは券売機にて行い、貸出しは専用カウンターで行います。貸出し時間は個人利用の時間帯とします。(安全確保の為のヘルメット・肘&膝プロテクターは無料で貸出します)		支出	収入
2	【 体験教室の提供 】 初心者を対象とした体験教室(通年実施、30分/回)を実施します。気軽に参加できる体験教室を行います。親子連れや友人同士などで参加頂き、継続利用を促進します。実施は個人利用の時間帯とします。		支出	収入
3	【 校外学習等への指導員紹介 】 集団利用者を対象とした指導員派遣(60分/回)を行います。利用団体の要望に応じて、指導員を派遣・指導します。技術の向上を促進すると共に、継続利用を促します。実施は個人利用の時間帯とします。		支出	収入
4	【 プライベートロッカーの設置 】 団体及び個人を対象として設置します。用具を収納する為のロッカー・倉庫を購入・設置し、利用者の利便性を向上させます。月極契約とし管理を行います。		支出	収入
5	【 専用利用者向け倉庫の設置 】 専用利用するチーム等の利便性向上のため、必要道具等を保管できる倉庫を設置します。 場所:リンクサイド		支出	収入

6	【 スポーツセレクトショップの運営 】 利用者の利便性及び満足度の向上を目的に、スケート用品（ウェア、ホッケー用品、ブレード研磨等）の販売を行います。営業時間は個人利用の時間帯とし、一部専用利用時にも営業します。		支出	収入
7	【 自動販売機の設置 】 利便性及び満足度向上を目的に、自動販売機を設置する。飲料だけではなく栄養補助食品等も含め、充実した品目を取り揃える。また、ユニバーサルデザインや災害支援機対策機、『手袋』など必需品も取り揃え、キャッシュレス対応機を導入する。利用時間は開館に合わせた24時間とし、利用者の利便性に寄与します。		支出	収入
8	【 自転車駐輪場の運営（シェアサイクル・ボードの運用） 】 「自転車活用推進重点地区」である豊洲地区などからのアクセシビリティ向上を目的に、無料の駐輪場及びシェアサイクル・ボードポートを設置する。設置場所等は東京都と協議して決定する。（一般駐輪とシェアサイクルは各20台の駐輪を目途とし、手狭な場合は一般駐輪の設置を優先とする。）		支出	収入
9	【 無料シャトルバスの運行 】		支出	収入
10	【 傘のシェアリングサービス「 」の設置 】 急な天候変化にも対応できるよう、傘のシェアリングサービスを設置する。 に導入済みのサービスと同一にすることで、相互利用を可能にする。施設利用者だけでなく、本サービス利用者に施設をPRする機会にもつながる。外部事業者提供のサービス利用により運営する。		支出	収入

11	【 充電器シェアリングサービスの設置 】 利便性及び満足度向上を目的に、スマートフォン用バッテリースタンドを設置する。 に導入済みのスタンドと同一にすることで、相互利用を可能にする。利用時間は開館に合わせた24時間とし、外部事業者提供のサービス利用により運営する。		支出	収入
12	【 施設内外での撮影協力 】 多様な施設活用及び本施設のPRを目的に、各種撮影を受け入れる。受入れ場所として、エントランスやペDESTRIANデッキを活用する。原則、一般利用開館時間内及び利用団体や利用者に支障が出ない範囲での受入れとし運営する。		支出	収入
● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。 ● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の8年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画 (2) その他 (G)」と金額が一致すること。			繰入額①	収入合計③
			支出合計② (①を含む。)	差引④(③－②)

(1) 広報

戦略的な広報を行い、当施設の利用促進を図ります。

- 都内における氷上スポーツの利用促進・普及啓発の担い手として、広報活動を実施します
- Webサイトをメインツールとして、団体利用・個人利用・イベント・スクールなど、利用目的に合わせて情報をグループ化し、発信力を強化します
- 当施設のHPやSNSなどデジタル媒体を活用し、積極的な情報発信を行います

1 実施方針

- ・氷上スポーツについて、特に若年層や働き盛り世代への情報発信を強化し、SNSやWebサイト等のデジタル媒体を積極的に利用することで、複合的かつ先着的な広報を実現し、都民がスポーツに触れる機会を拡充します。

2 継続的な当施設の事業への効果的・効率的なPR

Webサイトを通じた訴求

- ・当施設独自のWebサイトを開設し、Webアクセシビリティの確保（JIS X8341-3の適合レベルAAに準拠）をしつつ、施設利用に必要な情報や施設の魅力・事業内容等を利用者に訴求する情報を掲載します。
- ・スポーツ案内ポータルサイト「SPOPITA」と連携し、相乗効果を高めていきます。
- ・特に各競技団体と連携して、アマチュアスポーツの観覧を積極的に広報して、「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」のすそ野拡大を促進します。

SNSを介した当施設の情報展開

- ・等々のSNSにより、大会などのイベント情報や各種事業の案内、施設の利用状況はもちろんのこと、氷上スポーツの興味を引いて当施設を利用したいと感じる情報を発信します。
- ・施設内にフォトスポットを設置し、利用者によるSNS拡散を狙います。

オフラインも併用した積極的な情報発信

- ・プレスリリースやプレゼン企画の実施、マスメディアへの直接訴求を行います。
- ・当社グループのIPなどの広報発信手段を活用し、情報発信の幅を広げます。
- ・競技の紹介や都内の大会スケジュール、競技映像の放映、アスリート企画展示等を実施します。

周辺地域や団体との相互連携

- ・近隣小中学校へのチラシ配布による情報発信を行います。
- ・等々の相互連携（チラシの配架、HPや掲示板等にイベント情報掲載）を行い、地域振興に努めます。

3 供用開始に向けて利用者の期待を高めるPR

開業に向けての段階的な情報発信

- ・指定管理開始の令和7年6月から開業までの期間に、複数回に分けて「開業まであと●●H」といったカウントダウン告知の発信を行います。
- ・都立初となる通年リンクの開業を都民に広くアピールするため、マスメディアへの積極的な働きかけや周辺地域への折り込みチラシの配布、SNSでの発信など、効果的な広報・宣伝活動を大々的にを行います。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(2) 業務の品質管理

利用者ニーズを正しく捉え、効果的な対応及び継続的な業務改善により、サービス・品質水準を底上げする体制を構築します

- 多様な方法を用い、広く利用者のニーズや要望・意見を収集します
- OODA ループ及び PDCA サイクルの思考法により、サービスの改善を行います
- 他施設を含めた情報共有により、サービスレベルの向上を図ります

1. 利用者等のニーズや要望の把握

多種多様な方法で利用者等の声を広く収集

- ・ 多様な方法により、施設利用者だけでなく潜在的な利用者からも意見・要望を収集します。

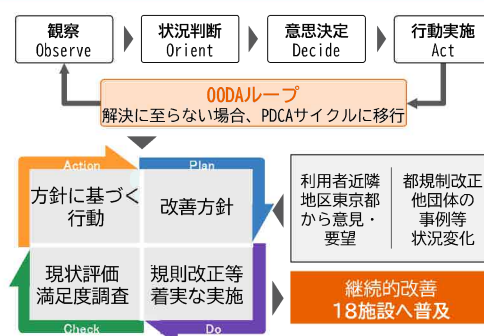
多種多様な意見収集

収集方法	頻度	対象	内容
利用団体等へのヒアリング	随時	利用団体	利用団体との打ち合わせ等で、大会・イベント主催者視点の意見・要望をヒアリングします
利用者懇談会	1回/年	利用団体	利用者懇談会を通じ、利用団体等の意見を直接伺う機会を設けます
周辺施設との意見交換会	随時	周辺施設責任者	周辺施設連絡協議会等を通じ、利用団体や周辺施設等の意見を直接伺う機会を設けます
利用者満足度調査の実施	1回/年	利用者	運営の指標として利用者の満足度を調査するため、事業アンケートを実施します
スタッフによる声の収集	随時	利用者	利用者との日常的なコミュニケーションを通じ、利用者の「生の声」を収集します
ホームページ	随時	利用者	問合せページのほか、営業時間外も意見・要望を受け付けます
ご意見 QR の掲示	随時	利用者	館内に QR コードを掲示し、WEB で手軽に意見・要望を伝えられるよう工夫します

2. 具体的な取組

意見等の反映、改善の仕組み

- ・ 日常業務の中での利用者にとって不便な手続きに対する改善など、軽微な問題や迅速さが求められるものについては、「OODA ループ」の思考法により、職員の経験等に基づく判断により、迅速かつ臨機応変な対応を行います。
- ・ 中長期的な問題については、PDCA サイクルにより、組織的に改善に取り組みます。
- ・ OODA ループと PDCA サイクルによる相乗効果を高めるため、マニュアルを作成し定期的な改訂を図るなど、全スタッフで情報共有し、改善を継続します。



OODA ループと PDCA サイクルによる継続的な改善活動

各種会議体を通じた情報の共有

- ・ 各責任者による現状把握、課題の抽出、対処の検討、今後の計画等を協議し、対策を共有した上で各スタッフに周知し、利用者へのサービス向上等に活かします。
- ・ 周辺施設や他の都立スポーツ施設との 18 施設連携会議等での情報の共有により、都立施設全体のサービス品質の向上を図ります。
- ・ 他のスケートリンクの運営実績を踏まえた、業務の効率化やノウハウを活用し、サービスの高品質化に努めます。

会議体名称	出席者
実務担当者会議	施設長・各責任者
社内営業会議	施設長・本社
18 施設連携会議	施設長
隣接公園等との定期的な連絡会	運営管理責任者

会議体一例

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(3)外部資金の導入等による事業の充実及び収益の確保

積極的な外部資金の導入等により、更なる収入確保や経費削減、事業の充実等を図ります

- 協賛金のほか、物品提供や事業協力なども含めた幅広い検討を行います
- 広告枠の設置や外部の助成制度の活用なども視野に入れて取組を進めます
- 東京都が別途方針を示すネーミングライツ等については全面協力を前提に進めます

1 外部資金導入等について

外部資金導入等についての実施方針

- ・外部資金の導入等について積極的に検討・調整を行い、**更なる収入確保や経費削減、事業内容の充実等**に向けて取り組んでいきます。
- ・その際は、金銭の提供だけでなく、**物品の提供や事業協力なども含めて、幅広く検討**していきます。

事業の充実及び収益の確保に向けた具体的な取組

①協賛金・物品提供

- ・スポーツの日記念事業をはじめ、スポーツ振興事業や自主事業などの各種事業において、企業・団体との関係性を積極的に構築しながら、**協賛金・物品等の獲得に向けて検討・調整**します。

②広告

- ・収入増加を図るため、例えばフェンス看板、バナー広告など、**施設内で目を引く場所に広告スペースを設置**し、収入の増加を図ります。
- ・その際は、大会開催時のスポンサー対応に十分配慮します。また、**東京都が別途方針を示すネーミングライツや広告掲載については全面的に協力することを前提**に、それらの方針と齟齬のないように調整しながら、出来る限り広告効果の高い運営を目指します。

③事業協力

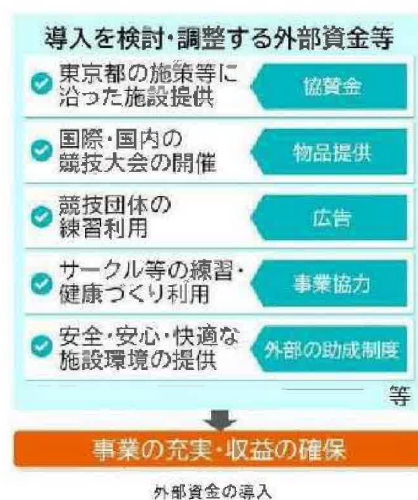
- ・協力団体とともに事業を実施する際には、広く都民のスポーツ振興に資するのはもちろんのこと、当該団体にとっても有益となるよう、事業内容を工夫することで、当該**団体から様々な事業協力**（例えば、無償での講師派遣、備品の貸与等）を得られるよう検討します。
- ・特に、**社会貢献やアスリート雇用等に積極的な企業等との連携**を模索し、更なる事業の充実や経費削減に資するよう、検討していきます。

④その他

- ・**地域との連携**を深める中で、地元企業等から、例えば、イベント時の寄附やチラシ広告への出稿などが得られないか、協議・調整していきます。

など、**外部の助成制度について、事業内容を踏まえながら検討**していきます。

- ・なお、現状では施設の詳細が十分把握できないことや、ネーミングライツ及び広告掲載に係る東京都の方針が現時点で不明なこともあるため、上記の外部資金の導入等については収支計画に反映しておりません。
- ・事業協力や地元企業等との提携などを足掛かりに、多様な検討を積極的に行い、**実現可能性の高いものから順次取り組んでいきます。**



事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

18 施設のネットワークに係る取組みに積極的に参画し、都民にかけがえのない価値を提供します

- 都立スポーツ施設間の連携に参画し、取組みを積極的に推進します
- 「発信力の強化」「ニーズ対応力の強化」「一体的な取組みによるスポーツ振興」の各取組みを推進します
- 経験やノウハウを生かし、東京都の意向及び都民ニーズを踏まえ取組みを進め

1 基本的な考え方

- ・ 都立スポーツ施設の管理運営を行ってきた経験やノウハウ、関係団体とつながりを活用し、18 施設との連携を推進しながら、施設のポテンシャルを最大化します。
- ・ スポーツ振興審議会で示された「18 施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮」における「発信力の強化」「ニーズ対応力の強化」「一体的な取組みによるスポーツ振興」の3つの視点を軸に、各種取組みを積極的に取り組んでいきます。

2 「18 施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮」に向けた取組み

オンライン・オフラインを併用し、一体的な情報発信を推進

発信力の強化

①都立18施設掲載のWebサイトの活用

- ・ 当施設のホームページを作成し、施設概要や施設利用について、分かりやすく情報発信を行っていきます。
- ・ 加えて、都内の指定管理者実績のある東京都スポーツ文化事業団が運営する、都立スポーツ施設の紹介、公民含めた都内スポーツ施設の検索、都内スポーツ教室等の紹介をしているWebサイトを活用していきます。
- ・ 当施設は令和7年9月に開業しますが、前述のWebサイトの3Dビュー・VR映像を活用し、施設になかなか来られない都民にも施設状況を分かり易く紹介していきます。
- ・ また、施設利用に向けた検索や事業紹介機能を最大限に活用し、チーム・サークル等の施設利用や各種スポーツ教室への参加など、多くの利用につなげていきます。
- ・ 加えて、前述したWebサイトの有効性を他の都立スポーツ施設に紹介し、一体的なプロモーションを推進し、発信力の強化を推し進めます。



東京のスポーツ情報発信Webサイト「SPOPOPITA」

②都立スポーツ施設や周辺施設と連携した情報発信

- ・ 当施設が位置する「臨海スポーツエリア」における

周辺施設と連携し、デジタルサイネージやパネル展示などで各施設のイベントや各施設の魅力等を、相互に情報発信します。

- ・ 周辺施設が連携して、既存利用者以外の方に、各施設の魅力や情報を届けることで興味、関心を喚起し、複数施設を利用する方など、新たな利用者の開拓、更なる施設利用につなげます。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題3 「3 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組」

③「都立スポーツ施設連携促進事業」への積極的な協力

【TOKYO スポーツコンシェルジュ事業】

- ・都立スポーツ施設連携促進事業における「TOKYO スポーツコンシェルジュ」事業について、最大限の協力を行っていきます。
- ・コンシェルジュからの利用相談や施設の空き状況、敷地での撮影などの問い合わせについて、**必要な情報を整理して提供し、コンシェルジュが適切かつ円滑に機能するよう協力していきます。**

【18 都立スポーツ施設のデジタルガイドブック】

- ・各施設の魅力や特徴などが一体的にまとめられている「18 都立スポーツ施設のデジタルガイドブック」についても、積極的に掲載に協力していきます。
- ・18 施設と一体的な情報発信を行っていくことで、他の施設との連携強化を図っていくとともに、施設 PR の推進により、施設利用の拡充につなげます。



5施設、13施設、スポーツをつなぐイメージ図

周辺施設との円滑な連携で、大規模大会等のニーズにも対応

ニーズ対応力の強化

①施設間コミュニケーションの円滑化

- ・都立スポーツ施設の施設管理者が一同に会するパートナーシップ会議及び同会議分科会において、情報共有に努めていきます。
- ・率先して各施設に共通する懸案事項や利用者からの意見及び要望などの情報共有を行うことで、施設を超えた問題意識の醸成、施設間でのコミュニケーションの円滑化を図り、18 施設全体のニーズ対応力の強化に貢献します。

②大規模水上スポーツ大会等への需要対応

- ・複数会場を使用する必要がある大規模な水上スポーツ大会・イベントなどについて、都立スポーツ施設や周辺施設と連携して調整を図り、開催を支援していきます。
- ・例えば、**をメイン会場、当施設を大会開催前の練習会場、大会Hでのウォーミングアップ会場として活用するなど、複数会場が必要な大規模大会の誘致に活用できると考えます。**
- ・大規模な大会・イベントの開催の使用需要に応えられるよう努め、開催により**臨海エリアの活力創出、東京の魅力向上につなげていきます。**



大規模水上スポーツイベント(イメージ)

一体的に取り組むイベント等の推進

一体的な取組によるスポーツ振興

- ・当施設の開館翌年の7～9月には、東京オリンピック、パラリンピックから5年目の年となります。例えば、東京2020大会開催から節日の年に、東京都主導のもと18都立スポーツ施設でキャンペーンを打つ際などには、一体的な取組みに積極的参画していきます。
- ・**と連携し、「ニュースポーツ」のイベントを開催します。ニュースポーツの名所としての認知度を高め、にぎわいの創出とともに、働き盛り世代や女性などのスポーツ実施率の低い層への訴求を図り、地域からのスポーツ振興を図っていきます。**

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

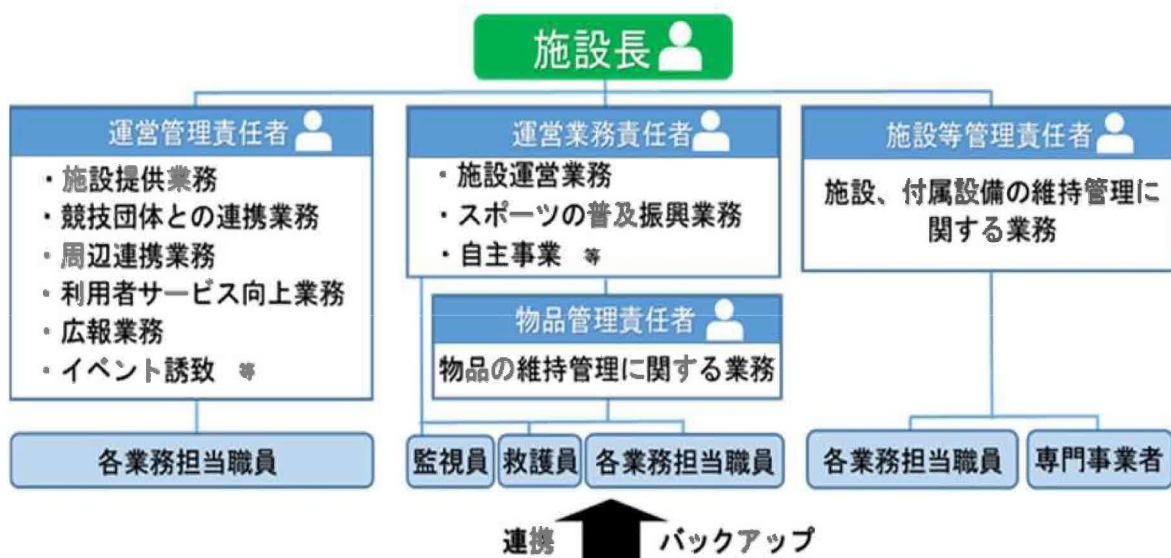
業務ごとに専門性の高い職員を配置し効果的・効率的に施設を運営します

- 施設長をトップに、多様化するニーズに対応できる強固な組織体制を整備します
- スケートリンク業務経験と専門性を備えた人員を配置します
- 大規模スポーツ施設の指定管理で培ったノウハウやネットワークに加え、明確な役割分担と強固な連携により、効果的な運営を実施します

1 組織運営体制の基本的な考え方

多様化するニーズに対応できる強固な組織体制

- ・ スポーツ施設の管理運営経験者である施設長を施設の総括責任者として、各業務部門に応じ、必要な経験・知識・技能を有する職員を配置することで、多様化するニーズに対応できる強固な組織体制を整備します。
- ・ 各業務部門に責任者を配置し、当社内の連携体制、委託企業に対する管理体制等の統率を行うことで、役割分担を明確化し、確実かつ効果的・効率的に業務を遂行します。
- ・ 大規模大会開催時や緊急・災害時には、近隣の区の当社運営施設や本社職員の応援も含めたバックアップ体制を構築し、柔軟に人員体制を整え、大会運営のサポートやサービス提供の継続に努めます。
- ・ これまでのスポーツ施設における管理運営の経験を最大限生かして、大規模大会の誘致や大会時の広報を行い、本施設で開催される大会・イベントをサポートします。
- ・ 豊富な接客経験により培った高いコミュニケーション力と公平・公正な施設運営により、都立スポーツ施設の指定管理者として満足度の高い施設運営を行います。
- ・ 施設運営計画及びスポーツ施設の管理運営実績に基づく利用者数予測を踏まえ、管理運営・安全確保に必要な人数を配置します。



江戸川区・中央区・品川区他 当社直営施設職員 及び 本社（中央区内）職員

本業務の運営体制

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題 4〔組織及び人材〕 1 効果的かつ効率的な組織体制の確保

2 各部門の人員配置

経験豊富な専門人材の配置による運営品質の向上

- ・本施設には、これまでの都立スポーツ施設及び数多くの指定管理事業で培ったノウハウを活かせる人材を配置します。その上で氷上スポーツの多くのスポーツ団体等と良好な関係を構築し、利用の調整や事業の実施において**利用団体・関係団体とのより高い信頼関係を構築**します。
- ・本施設の「業務内容及び管理運営の基準」に基づき、**資格要件を満たした職員を適切に配置**するとともに、設置目的の達成に必要な人材の研修等を実施することで、職員の資質・能力向上を図り、運営の品質を高めます。
- ・利用者にとってより分かりやすい情報発信に取り組むため、当社本社広報担当部署と連携して、**統一的かつ効果的な広報戦略を実施**します。
- ・諸手続のデジタル化を行ってきたところですが、今後も組織的に DX を推進していくことで、**内部事務の効率化、組織運営の活性化とともに、利用者が「実感」できる QOS（サービスの質）の向上**を図ります。

3 役業務分担と連携

明確な役割分担

- ・施設長が右図に示す各々の担当業務を統括し、効率的な管理運営を行います。
- ・施設長は施設運営全般を総括し、本施設の運営を通して、都民のスポーツ振興に寄与します。
- ・個人利用における運営業務やスポーツ振興に係るプログラム等を実施し、誰もがスポーツを楽しむことができる場の提供をしていきます。



職員間の円滑なコミュニケーションを促進する組織体制を確立

- ・施設長を中心に、朝礼や終礼、各職員の出勤時に連絡ノートの内容を共有し、職員間での相互のコミュニケーションを促進します。特に初年度は毎日細かく情報共有を行います。
- ・利用者や都民の多様化するニーズへの対応について、各業務責任者主導のもと、職員間で検討を行い、管理運営状況についての共通認識を図ります。
- ・情報交換をスムーズに行い、あらゆる状況に迅速に対応できる職場とするため、右図の6つの視点から、報告・連絡・相談を行うよう職員への教育を行います。

報告・連絡・相談の6つの視点

- ① 問題点を明確にする
- ② 緊急性を判断する
- ③ 直接「報告・連絡・相談」する
- ④ 要点を簡潔にまとめる
- ⑤ 相手の立場を尊重する
- ⑥ 問題や相談者をフォローする

情報交換をスムーズに行うための6つの視点

4 東京都への連絡体制

東京都への連絡・調整・報告体制の確立

- ・施設長が東京都への連絡窓口業務を担当するほか、緊急時は、施設長から**迅速に東京都へ報告**する体制とします。
- ・大規模大会の開催等にあたっては、東京都と綿密に情報交換、意思疎通を図るとともに、関係団体等との連絡調整を実施することで、緊急事態にも対応可能な体制を整えます。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題4-1 別表 各部門の所要人員

資料 1

	役 職	担当業務内容 (具体的に記入)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1週間の 勤務時間	備 考
				常勤	非常勤	委託		
施設配置人員	施設長							
	運営管理責任者							
	運営管理担当者							
	運営業務責任者							
	運営業務担当者							
	受付業務担当者							
	監視員・救護員							
	施設等管理責任者							
	リンク整水業務担当者							
	警備員							

施設長を中心とした明確な責任体制を構築します

- 業務全般の総括責任者である施設長をトップに、業務権限と責任の範囲を明確化します
- 各部門の責任者には、それぞれの分野の経験豊富な担当者を充て、適切な業務執行と危機管理を徹底します

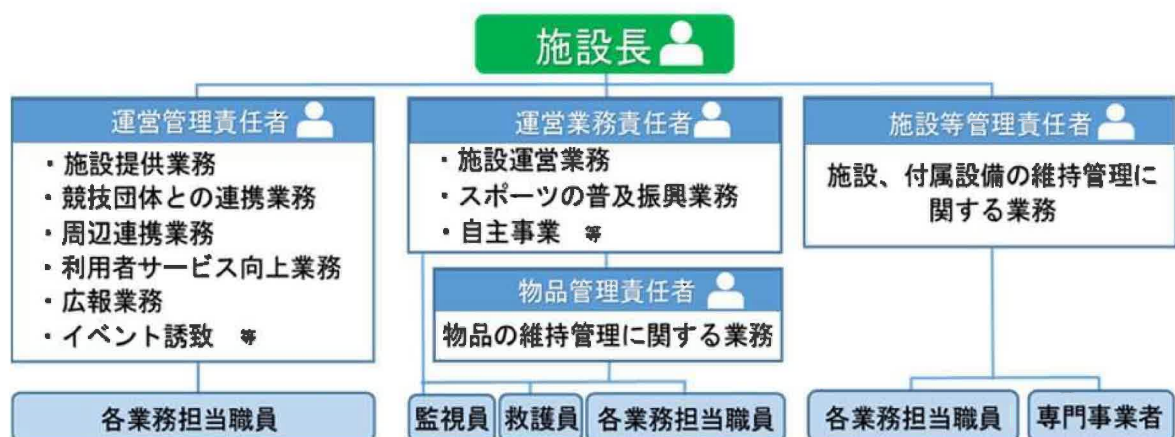
1 責任者の役割

責任者の役割及び位置づけ

- ・業務全般を統括する責任者として、施設長を配置します。
- ・施設長には、長年の経験や業務に必要な資格等を有する者を配置します。
- ・施設長のもと、業務ごとにラインを明確化した意思決定体制を構築するとともに、それぞれの責任者が、業務の進行管理、スタッフへの指示、各部門間の調整等を行い、確実かつ効率的・効果的に業務を遂行します。

役職名	総括業務	主な業務内容
施設長	本事業の総括業務	・本施設業務全般
運営管理責任者	運営管理業務	・利用調整業務 ・周辺連携業務 ・広報・宣伝業務 ・利用者サービス向上 ・開業イベント 等
	施設提供業務	・専用利用受付 ・各種利用団体受付業務 等
運営業務責任者	施設運営業務	・利用者安全管理業務 ・職員研修業務 等
	普及振興等業務	・「スポーツの日記念事業」「スポーツ振興事業」等推進業務 等
	自主事業等管理業務	・企画業務 ・教室等運営業務 等
施設等管理責任者	施設・設備管理業務	・本施設全般及び施設内設備の管理業務 等
	維持管理業務	・清掃含む維持管理業務 等
	リンク整氷管理業務	・リンクの管理業務 ・整氷関連機器の管理業務 等
物品管理責任者	備品・物品管理の総括業務	・東京都備品の管理 ・指定管理者備品の管理 等

責任者の役割



各構成団体の責任体制

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

適切な勤務体制・人員配置により業務品質を確保します

- 関係法令を遵守し、適切な勤務ローテーションを実施した業務品質を確保します
- 東京 2020 大会などの大規模大会に対応してきたノウハウを生かし、適正な人員体制を取ります
- ライフ・ワーク・バランスを踏まえた働きやすい労働環境を整備し、効果的・効率的な業務を遂行します

1 勤務体制、労働環境及び人員配置

適切な勤務体制の構築と、柔軟な人員配置による業務品質の確保

- ・リンク営業は専用利用を含め 24 時間営業を想定し、勤務シフト間で漏れなく引継事項を共有し、スタッフの業務品質の確保と質の高いサービスを提供します。
- ・大規模イベント開催時には主催者との連携を含め、これまでのノウハウを生かした規模・観客者数の予測に基づき、必要に応じて応援スタッフを投入すること等により、**最適かつ柔軟な人員体制を確保**します。

適正かつ働きやすい労働環境の整備

- ・シフト勤務制による適正な労働時間の管理、有給休暇の付与、福利厚生の実施、ストレスチェック、産業医による健康相談、健康診断、相談窓口の設置などを実施することで、関係法令等を遵守しながら、**適正な労働環境を確保し、ライフ・ワーク・バランスを推進**します。
- ・産休・育児休業をはじめ、介護休暇、時短勤務及び特別休暇等の制度を充実させ、**女性だけでなく、男性についても、育児や介護に係る休暇を取得しやすい運用に努め、職員全員が働きやすい職場環境をより一層充実**させます。
- ・また労働環境向上に向けた取組に努めており、メンタルヘルスカウンセリング制度や女性専用メール相談窓口を設置しています。そして、新卒・既卒学生就職サイトを活用した職場情報の提供を行うとともに、中途採用や経験者採用についても適宜実施し、若者を雇用しやすい環境整備を始め、安定した雇用及び人材確保に努めています。

充実した教育研修を通じ安全・安心な環境と高品質なサービスを提供する職員を育成します

- 目標管理制度の実施により職員のモチベーションと業務の質を向上します
- 公共施設管理運営に必要な研修の計画的な実施と、資格取得支援制度を行うとともに、適切な配置管理により、職員の資質・能力を向上します
- 毎年度、研修計画を策定し、外国人や障害者対応等に係る研修を導入することで、ダイバーシティ&インクルージョンへの意識向上を図ります

1 人材育成の取組

目標管理制度の実施

- ・全職員を対象に、目標管理制度を継続的に実施します。
- ・責任者との個別面談を実施し、職員自身の目標設定や主体的な取組をサポートするとともに、これを効果的・効率的な職務遂行につなげることで、職員のモチベーションアップと、専門的な技術や能力の向上を図ります。

適切な配置管理の実施

- ・職員としての素養をより一層高めるとともに、個々の有する専門性や強みを生かし、確実に継承することができるよう、知識・能力を高める配置管理を実施します。

充実した研修・教育の実施

- ・公共施設の管理運営に必要な研修や利用者、社会的ニーズに応じた研修を計画的に実施し、利用者が「実感」できる QOS（サービスの質）の向上を図ります。また、研修等を通して、職員に対し、コンプライアンス意識の徹底を図り、適正なガバナンスを確保します。
- ・実務スキルの早期向上のため、先輩職員から実践形式での教育指導(OJT)を実施します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題 4 [組織及び人材] 4 人材育成の取組

基礎研修項目一覧				
区分	研修名	研修内容	回数	主な対象者（専門・担当業務）
基礎研修			1回/年	入社職員・採用職員
			1回/年	全職員
			1回/年	全職員
			1回/月	全職員
			随時	就業時
			2回/年	全職員
			1回/年	全職員
			1回/年	全職員

業務別研修項目一覧				
区分	研修名	研修内容	回数	主な対象者（専門・担当業務）
業務別研修			2回/年	各業務責任者
			随時	各業務責任者
			随時	受付業務スタッフ
			2回/年	受付業務スタッフ
			随時	管理業務スタッフ
			1回/年	管理業務スタッフ
			随時	管理業務スタッフ
			随時	管理業務スタッフ
			随時	製氷管理業務スタッフ
			1回/年	管理業務・事業・業務スタッフ
			随時	管理業務・受付業務・事業スタッフ

人材育成(年間研修計画)		
時期	全体研修項目	研修内容
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題 5〔施設の維持管理その他管理運営に関する業務〕 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

(1)施設、附属設備及び物品の維持管理

着実かつ計画的な維持管理業務の遂行により、良好な状態での施設、物品の提供を行います。

- 法令等を踏まえた着実かつ効率的な保全業務を行います。
- 予防保全の観点に立ち、建物の長寿命化、ライフサイクルコストの縮減を図ります。
- 定期的な点検や記録により、適切な物品等の保守管理を行います。

1 実施方針

- ・業務を管理する責任者を配置し、関係法令・業務仕様書を遵守し、着実な保全業務を行います。
- ・年間の維持管理計画を策定し、計画的に行うことで、業務の効率化や施設の休止期間を最小限に抑え、常に良好な状態及び性能並びに品位ある美観を維持します。
- ・定期的な点検や記録により、適切な物品等の保守管理を行い、施設利用者が常に良好な状態で使用できるようにします。

2 実施体制

明確かつ具体的な実施体制

- ・本施設の施設、附属設備及び物品の維持管理業務は、施設等管理責任者及び物品管理責任者をそれぞれ任命します。
- ・施設、附属設備の維持管理業務においては、施設等管理責任者が総括的な管理を行い、年間の保守計画等に基づいて効率的に業務を実施します。また、物品の管理業務においては、運営業務責任者の管理のもと業務を推進します。
- ・高度な技術や専門の技能が必要な維持管理業務については、専門業者の協力を得て対応し、安全・安心な施設環境の提供を行います。

3 各業務における取組

適切かつ効率的な設備管理業務

①関係法令・業務仕様書の遵守

- ・法令及び仕様書を踏まえた年間保守計画に基づき、日常・定期・法令点検を適切に実施し、各設備・機器の機能を十分に発揮させ良好な状態を保持するほか、空き時間帯を利用した自主点検により、求められている基準に応じた設備管理を行います。

②予防保全の観点に立ち、設備の長寿命化への取組

- ・定期的な設備点検やメンテナンスを行い、計画的な維持管理（予防保全）に取り組むことで、従来の施設の使用期間を長期化していくことにより、建物のライフサイクルコストの縮減を目指します。
- ・日常的な小さな不具合などの情報も、こまめに記録し、設備の状況把握に努めることで、重大な設備故障や長期的な不具合を未然に防ぎ、ダウンタイムが生じることを防ぎます。
- ・予防保全はコストが高くなる傾向があることから、コストが過大にならないよう、適正な期間や項目の見極めを行っていきます。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

丁寧な清掃業務による施設環境の維持

- ・年間保守計画に基づき、清掃作業基準書に則した丁寧な清掃により、シームレスな施設環境を維持するとともに、手すりやドアノブ等コンタクトポイントの重点清掃など、**感染予防の視点に立った衛生管理を展開**します。
- ・清掃員だけでなく施設の全スタッフと連携し、大規模大会時のゴミ回収や嘔吐物の処理などの**突発的な事象にも迅速に対応**します。
- ・施設の清潔さは利用者の満足度の重要項目である意識し、利用者が気持ちよく使える施設環境を整えます。

利用者の安全・安心を守る保安警備業務

- ・利用者が安心して施設を利用できるよう、不審者や迷惑行為等への厳格な対応だけでなく、本施設の機能・特性を十分に認識し規律と節度を保持しながら、**おもてなしの心をもって丁寧に対応**します。

4 備品の管理

点検・記録による管理

- ・東京都が調達した備品は、定期的に品名、規格、数量、金額、購入年月日、使用場所、使用状況等を確認します。
- ・定期的な棚卸と6つの視点に立った**日常的な性能確認**を行い、東京都が調達した備品の破損や不具合、また移動や変更等が生じた際は、状況写真や原因などを記録し、速やかに**東京都に報告**します。
- ・当社が設置する備品は、**台帳を整備してデータベース化**するとともに、定期的に状態を確認し、修理や処分の計画立案を行います。また、シールの貼付等により、備品を区別して管理します。

目 6つの視点

動作・音	怪我リスク	劣化・亀裂
正しく動作しているか、異音はないか	触れる部分に鋭利な箇所はないか	劣化や亀裂はないか
緩み	塗装・錆	汚れ・異物
接合部に緩みや欠陥はないか	著しい塗膜剥離や錆びの発生はないか	著しい汚れや落書き、異物等はないか

維持管理の8つの視点

5 業務の再委託

再委託業務のマネジメント

- ・高度な技術が必要とされる維持管理業務は、**専門事業者の協力を得て対応し、高い品質を確保**することにより、**安全・安心な施設環境の提供**に努めます。
- ・作業に当たっては予め作業計画の提出を求め、業務内容を把握し、適正な作業報告を基に、業務の品質や安全性、公共性を確保します。
- ・再委託業務の一覧及び金額等につきましては、様式5別紙2の委託一覧表をご参照ください。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(2) 施設の修繕

安全を第一とし、緊急度・重要度に応じた柔軟な対応をします。

- 未然の把握に努め、発生時は判断基準に従い、迅速な対応を行います。
- 突発的で専門的な修繕対応にも柔軟に対応します。
- 各種データを基に、中長期的な修繕計画を策定します。

1 実施方針

- ・利用者の安全を第一優先とし、安全・安心・快適に利用できるよう努めます。
- ・緊急度・重要度に応じた修繕の判断基準を定め、利用者からの要望事項・東京都との協議も踏まえながら柔軟に対応していきます。
- ・特殊な修理部材を避けるほか、部品の生産状況を把握し、不測の事態に対応します。
- ・日々のデータ等を基に中長期的な修繕計画の策定を行います。



2 実施体制

具体的かつ明確な実施体制

- ・修繕に関する業務については、施設等管理責任者を当社の施設管理チームがサポートを行いながら業務の総括的な管理を行います。
- ・業務担当者だけでなく、施設に従事する全職員が日常業務においても気を配り、未然の把握、迅速な対応に努めます。
- ・施設や設備について**予防保全を基本とした修繕・更新計画を立て（修繕予算の完全履行体制）、施設の運営状況とともに施設や設備、備品の状態を把握し、劣化の兆候や進行状況を適切に判断し、常に施設を最良の状態に保つよう努めます。**
- ・作業の日程については、営業・利用に影響が少ない日程を選択し、必要に応じて東京都に事前に協議するなどの調整を行います。
- ・突発的かつ規模が大きな不具合や故障が発生した場合は速やかに東京都に報告するとともに、その後の対応に関して協議します。
- ・特殊な修理部材を避け、日常的に手に入る修理部材を使用することで迅速な修繕対応を可能とするほか、当施設使用機器部品の生産中止状況を把握し、生産中止が確認された場合は、速やかに在庫確保を行い不測の事態に備えます。
- ・特に利用に影響を及ぼす不具合に関して優先的に原状回復することで、利用者優先を徹底します。

中長期的な修繕計画の策定

- ・日常点検や定時点検、各種の不具合等の記録をデータ化し、保全業務支援システムへの入力、記録を行っていきます。
- ・日常的な点検や小破修繕などにより、**機器類の長寿命化に貢献**するとともに、耐用年数や機器の利用頻度、不具合や故障の発生頻度や深刻さなどの条件を十分に検討し、計画的かつ適切な予算要求を行い、機器の更新に備えます。
- ・予防保全を原則とした計画的かつ定期的な保全業務に加え、各種点検や不具合等の履歴等について収集したデータ等を活用し、施設のライフサイクルコストに合わせた中長期的な修繕計画を策定します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(1) 危機管理及び災害対応

様々なリスクを想定し、迅速かつ適切に対応できる体制を整備します

- 想定される各種リスクについて、被害の最小化や未然防止を図ります
- 特に、スケートリンクで発生しやすい事故については、他施設での経験も踏まえ、未然防止に万全を期します
- 一時滞在施設としての役割を確実に果たすため、運営計画等を新たに策定します

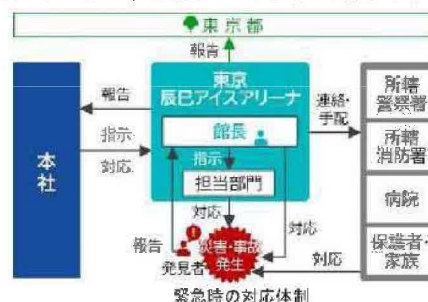
1 想定される危機とそれに対する対応

起こりうる事故や災害等

- ・施設運営に当たり想定される人為的な事件や設備不良による事故等から、自然災害、火災、テロなどの大規模災害まで、被害の最小化や未然の防止に向けた各種取組を進めていきます。
- ・特に、スケートリンクで頻繁に起こりうる接触や転倒による怪我などの典型的な事故については、これまでの類似施設での運営経験をいかし、発生防止に万全を期します。

リスクを軽減又は未然に防ぐための取組及び体制

- ・利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、口頭から事故防止に努めるとともに、万一の事故や災害の発生時には、利用者の安全を第一に、下図の体制のもと、迅速かつ的確に対応し、影響を最小限に留めます。



- ・スケートリンクで発生しやすい事故を予防するために、プロテクターやヘルメットなどを無料でレンタルするとともに、初心者に対する講習や現場係員による丁寧な監視等により、未然に防止します。
- ・全スタッフがAEDを適切に取り扱えるよう、「普通救命講習」（（公財）東京防災救急協会）を受講し、資格を取得します。また、事務所や受付に本施設のAED配置マップを常備します。

2 大規模災害発生時の対応や平常時の備えについて

大規模災害発生時の対応方針等

- ・組織的な安全管理体制に基づき、平常時から大規模災害に備えるとともに、発災時には、災害の種類や現場の状況に応じて、利用者・滞在者等の安全を最優先とするため、上図の体制を基本としながら、柔軟で臨機応変な対応を図っていきます。
- ・本施設が「一時滞在施設」として指定された場合には、東京都との協定や「都立施設を活用した一時滞在施設の運営マニュアル」に基づき、帰宅困難者等の受け入れに係る運営計画等を新たに策定し、適切に運営していきます。
- ・東京都からの要請による一時滞在施設開設を想定し、施設点検、一時滞在施設開設訓練、備蓄品の搬送・配布訓練、災害時特設公衆電話機の設置・通信訓練、スマートフォン等の充電スポットの設置訓練などを実施し、帰宅困難者の受け入れ方法について、事前に訓練や準備を行います。

平常時からの準備

- ・自衛消防技術認定証を有するスタッフを含む自衛消防隊を組織し、所轄消防署の指導の下、障害者や外国人の利用者も想定した防災訓練を毎年実施します。
- ・災害時に備え、東京都との協定等に基づく必要備蓄品以上の物資を用意し、適切に管理します。
- ・発災時に無償で飲料を提供できる災害対策用自販機を導入します。
- ・万が一の事故などにより、施設の利用者等に損害を与えた場合に備え、東京都と協議の上、「施設所有管理者賠償責任保険」に加入します。その際、必要に応じて、昇降機賠償責任保険等のオプション補償を付帯するなど、想定される様々な事故に備えます。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(2) 地球環境への配慮

「未来を拓くグリーンでレジリエントな世界都市・東京」の実現に寄与するため、公共施設としての率先した環境配慮に努めます

- 東京都の環境施策に協力するとともに、「HTT（減らす・創る・蓄める）」の取組みを通じ、持続可能な社会の実現に貢献します。

東京都の施策等を踏まえた環境配慮への取組み

当施設の取組みを通じた東京都の環境施策への協力

- ・ 東京都は 2050 年 CO₂排出実質ゼロの実現に向け「ゼロエミッション東京戦略 2020 Update & Report」において「2030・カーボンハーフスタイル」を提起し、緑の創出・保全や、エネルギー消費量の抑制など、2050 年 CO₂排出実質ゼロの実現に向けて様々な取組みを行っています。
- ・ 当社は、東京都の施策や東京都環境審議会の動向を踏まえ、積極的に環境対策に取り組み、未来を拓くグリーンでレジリエントな世界都市・東京の実現に貢献します。

地球環境への配慮・SDGs の具体的な取組み

- ・ 都立スポーツ施設の指定管理者として、東京都が推進する「HTT（減らす・創る・蓄める）」の取組みなどにより、下記の環境対策の徹底を図り、持続可能な社会の実現に貢献します。

環境対策の取組み

区分	対策名称	取組内容
省エネ	エネルギーマネジメントによる無駄の排除	・ 集中監視システムでエネルギーデータを系統別、時間別で記録 ・ データ解析エネルギー消費動向を把握 ・ 施設使用状況に応じた照明、空調の停止 ・ CO₂排出量の見える化
	熱管理	・ 負荷の平準化（温度時間の効率）、ヒートパターンの効率化 ・ 温度設定見直し
	使用電力の再生可能エネルギー化	・ 「東京都グリーン購入ガイド」における水準1で示されている供給電力量の100%を再生可能エネルギー電力にすることを旨とする
	省電力	・ 省エネに配慮した製氷設備、競技用システムの運用 ・ LED 照明の導入 ・ 照明の間引き ・ 節電型自動販売機の導入
	節水	・ 節水型吐水口の導入
廃棄物	ペーパーレス化	・ 両面印刷、印刷前のプレビュー確認等の徹底、会議資料の電子化によるコピー用紙使用量の低減
	排出量削減、リサイクル	・ 館内で回収したごみは集積所で再分別するなど、リサイクル率を向上 ・ 利用者に対し、館内掲示等により分別への理解を促進
調達	ワンウェイプラスチックの削減	・ 売店等での紙袋配布、エコバック推奨 ・ 事業参加者へのマイボトル持参依頼
	グリーン調達の徹底	・ グリーン購入法に基づく商品や同法に沿って環境配慮がされている適合商品の購入を推進
緑化	緑化推進	・ 良好な緑地保全に努め、敷地内の緑化を推進
薬剤	環境配慮型薬剤	・ 除草剤、樹木の消毒液や清掃業務で使用する洗剤等に関しては、環境に配慮した製品を使用

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(3) 個人情報の保護

施設長によるリーダーシップのもと、継続的な改善と適正な運用を図り、事故防止に万全を期します

- 各種研修を随時行うことで、職員の個人情報保護に対する更なる意識の向上を図ります
- 就業規則等に則り、スタッフによる守秘義務の遵守を徹底します

1 想定される個人情報とそれらに対する具体的な取組

施設の管理運営に伴い、取り扱いが想定される個人情報

- ・施設利用申込み、団体登録申込み、事業参加申込み、拾得物管理、意見・要望対応、防犯対策などにおいて、必要最小限の個人情報を取り扱います。
- ・具体的には、氏名、生年月日、年齢、性別、住所、電話番号、メールアドレス、画像等の個人情報を扱うことを想定しています。

個人情報保護に向けた具体的な取組

- ・多岐にわたる指定管理施設等の運営経験から、下表の対応など、個人情報保護や情報セキュリティ確保に向けて、厳格な取組を進めます。
- ・当社は施設の管理運営において、品質マネジメントシステム ISO9001 の認証を受けており、その中で個人情報保護については「個人情報保護方針」、「個人情報保護に関する規程」及び「個人情報保護要綱」を整備し、厳格な個人情報の管理体制を確立しています。
- ・また個人情報保護や、その業務改善の観点から、各業務責任者が日常的に検証を重ねるとともに、法律・条例等の改正に適切に対応するなど、継続的な改善と適正な運用を図ります。
- ・都民・利用者から個人情報の開示について請求があった場合には、個人情報の保護に関する法律施行条例等に則り、適切に開示を進めます。

緊急時の迅速な対応

- ・万が一、個人情報漏えい等の事故が発生した場合、即座に関係者への連絡・謝罪、情報の回収等を行うなど、拡散防止に向けた措置を講じると同時に、東京都や関係機関に報告します。
- ・二次被害や同様の事故の再発を防止するため、事実関係の整理、発生原因の分析、再発防止策の策定を速やかに行い、随時、東京都や関係機関に報告します。

2 個人情報の取扱いや行政処分を行う上で発生する守秘義務の遵守・履行

守秘義務を徹底するための取組

- ・個人情報の適正な管理運用や守秘義務の確実な履行を担保するため、新任研修や定例的な研修を行うほか、スタッフ全体の更なる法令・ルール遵守の意識向上を図ります。
- ・就業規則等に則り、また、採用時に誓約書を締結することで、退職後も含めた守秘義務の遵守を徹底します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

(4) 感染症拡大防止

東京都や国等が示す指針に則り、施設の特性に応じた適切な対応を行います。

- アイスリンク特有の課題にも情報収集を行い、柔軟に対応します。
- 手洗いや消毒などの基本的な事項は励行し、求められる対応を適切に行います。
- 迅速な報告・共有等ができるよう体制を整備します。

基本的な考え方

- ・ 各種の感染症の流行や感染拡大の傾向等の状況に応じ、**東京都や国等が求めるガイドライン等**の指針に基づき、適切な対応を行います。
- ・ アイスリンク特有の課題については、研究機関や競技団体との情報交換等により、十分な対策が取れるように対応していきます。
- ・ 国外や都外での事例等が発生した際には情報収集に努め、運営上のリスク等を予想し、求められる適切な対応が取れるように準備します。
- ・ 感染拡大のピークが過ぎ、対応が個々の判断にゆだねられる場合にも、手洗いや消毒などの基本的な事項については積極的に励行し、利用団体や個人利用者等に情報提供や注意喚起を行います。

具体的な取組み

①施設の特性に応じた対策

- ・ アイスリンクにおいては、氷によって冷やされた重い冷気が下方に溜まりやすい性質を持つことで生じる冷気溜まりにより、換気が不十分になることが研究などで分かっています。整氷車の作業等による空気の攪拌や、既設換気システムの機能、利用状況、地域気候等などの状況に応じて、適切な換気を行っていきます。
- ・ また、除湿器の稼働でも空気の攪拌効果があるため、状況に応じて効果的に起動させる運用を行います。

②利用者向けの対策

- ・ 利用者が触れやすい箇所の重点清掃を行うほか、館内掲示等により、手洗いや消毒などの基本的な事項について積極的に励行し、利用団体や個人利用者等に情報提供や注意喚起を行います。
- ・ 感染症拡大中の大会等開催時には、主催者との綿密な対策の打合せを行うとともに、催物開催の準備から本番までの徹底した感染予防をサポートします。
- ・ インフルエンザやノロ及びコロナウイルス、蚊媒介感染症などの流行や発生状況に応じ、利用者へ向けた館内掲示などによる情報提供・注意喚起を行います。

③職員向けの対策

- ・ 感染の拡大状況に応じてマスクの着用等の基本的な対策の徹底に加え、テレワークや時差通勤を行うことにより感染リスクを低減していきます。職員の感染により、都民サービスに支障のないよう、本社や近隣施設からの応援体制を構築する等、業務の継続を図ります。
- ・ また、感染拡大の状況などに応じ、必要な対策のための消耗品などについては、情報を収集し、必要な際に使用ができるよう、手配ルートの確認、事前の備蓄などを行います。

④報告等

- ・ 求められる状況に応じて、あらかじめ必要な**情報、手順などを整理しておく**ことにより、情報を迅速に報告、共有する体制を構築します。
- ・ 東京都と連携し、必要な対応や処置について協議し、求められる対応を適切に実施します。

⑤緊急時等

- ・ 今後においても「緊急事態宣言」や「まん延防止措置」等が発令された際は、**東京都と密に連絡**をとり、各々の段階に応じた対応を行います。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

魅力ある施設提供の実現とともに、効果的かつ効率的な支出管理と売上の安定化により指定管理料の縮減に貢献します

- スポーツ施設の維持管理実績を活かしたムリ・ムダのない収支管理を行います
- コスト削減の一方で必要経費は適正に計上し、安全・安心を確保します
- 実現性の高い収入計画と収益向上策により、指定管理料の縮減を図ります

・東京都立初の通年型アイススケートリンクを長年にわたり「持続可能で国内の象徴的な施設」に育てることを目標に、以下の方針に則り維持管理・運営を行います。

1. 効果的かつ効率的な支出管理を行い、持続可能な経営の基礎を築きます

・アイススケートリンクを含む数多くのスポーツ施設の維持管理運営の実績を十分に活かし、国内で一番の規模と考えられる当施設を、必要十分な状態で維持管理するとともに、経済的にも効果的かつ効率的な維持管理運営を行います。

①人件費の効率化のため、

③水道光熱費の抑制を推進

・通年営業の大規模アイススケートリンクにつき、特に水道光熱費の負担が経営を圧迫する事が懸念されます。中でも電気使用量・使用料金の大きな支出に対して、管理初年度、2年目、3年目と機動的に電気需給契約を検討できるよう、複数の電気事業者から最適な契約を比較検討・選択します。

④委託事業の効率化を推進

・従前のプールとは違い、夜間や早朝利用が日常であるなど機器類や安全警備関係について、安全安心に維持管理運営するため、業務内容の精査を常に行ない、委託する管理業務も常に効果的・効率的に更新できるように内容を検討します。

⑤ライフサイクルコストの低減を意識した維持管理

・特に施設設備のチェックにおいて、

・対処については維持管理事業者とともに、安全安心な施設設備の提供と施設の長寿命化に向けて積極的な修繕を行うなどの施策を推進し、ライフサイクルコストの低減に努めます。

2. 売上の安定化と継続的な売上増強施策を推進して、経営を安定化します

・国内アイススケートリンクの頂上を目指し、各関係団体やイベント主催者、そして個人利用等を期待されている個人や家族・グループに対して、利用し易い環境を提供し続け、国内最大の利用者数を目指して、積極的な営業施策を推進して、経営の安定化を図ります。

①各団体との連携を強化 大会、専用利用、イベントを誘致

・氷上スポーツの各種口の団体と緊密な連絡をとって、大会の開催や専用利用等を積極的に促進します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題 6〔収支計画〕○指定期間中の収支の考え方

②イベント主催会社と協議して、催事を誘致

- ・国内最大級の施設（観覧席等）を活かして、多数のアイスショーやイベント、競技会などを誘致します。
- ・臨海部の新たなスポットとして都民の認知を促進するとともに、観覧者や利用者として気軽に何度もご利用いただける施設に育てていきます。

④オフシーズン&通年利用の促進、各種教室実施

- ・アイススケートリンクは冬季に一番の需要を迎えますが、春から秋の一般利用者を誘致するために積極的なスポーツ振興事業や自主事業、そして主に**初心者を対象とした各種スケート教室の実施**により、スケート愛好家の育成成長を推進して、通年で利用者数（利用料収入）が安定するよう注力します。また、非日常体験によるアイスリンクでのイベントも多数実施します。

3. 令和7年度の収支計画について

- ・当施設引き渡し後、スムーズに職員を赴任させ、備品や消耗品の納品・インフラの契約と使用開始等を行い、営業開始への諸準備を開始します。また、東京都から各イベントや競技会等の予定の引継ぎを受けて開業の準備を推進します。
- ・令和7年は9月6日が開業である事を念頭に、収支計画を作成します。

①通常年比の売上不足

- ・4月から開業までの約5か月間、「利用料収入」等が無いため収支に悪影響となります。
- ・9月6日の開業日以降に専用利用や大会等の十分な利用数を確保するため、
- ・開業イベント等で当施設への注目を最大化させますが、

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題 6〔収支計画〕○指定期間中の収支の考え方

②費用負担について

- ・当施設の引渡し後から営業開始までは指定管理料のみが売上となりますが、通年アイスリンクの特性上「氷の維持管理」費用が最大となる夏季にあたり、大きな収支悪化を見込みます。
- ・特に近年の夏の暑さ（酷暑の気温等）は特に厳しく、高額な電気料金が経営を圧迫することを見込みます。

4. 令和8年度から11年度までの収支計画

- ・令和7年度に運営の基礎を構築します。安心して安全にご利用できることを団体及び個人利用者に認知していただき、リピーターとしてご利用いただきます。
- ・そのうえで令和7年度に催事・大会利用された団体には次年度以降も継続してご利用いただくことで、徐々に利用者数の増加を目指します。

- ・以上を念頭に令和8年度には総利用者数 人達成し、令和9年以降は 人超を目指します。

①各団体との連携

- ・各競技団体や知事が認めるアマチュアスポーツ団体と良好な関係性を保ち、公正かつ公平に施設利用を促進するため、各団体間で連携していただくなど、柔軟な対応を検討します。

②一般利用者誘致

- ・開業イベントを皮切りに施設の存在を周知するとともに、冬季に「体験イベント」を実施して新たな利用者の誘致を促進します。

③教室（自主事業）による通年利用者の育成

- ・イベント等で来館していただいた方にもスケート教室などの案内を行い、教室定員の集客を推進します。
- ・一般的なスケートリンクでは、

④当施設周辺施設への利用促進営業

- ・当施設周辺の学校等への校外学習として、教育委員会を通じて施設利用の案内、営業活動を行います。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題 6〔収支計画〕○指定期間中の収支の考え方

5. 収支の赤字や想定以上の利益発生時について

- ・令和7年度は営業期間が7か月であるため、年度収支の厳しさを予想します。支出についても営業は7か月ですが、施設引渡し後から営業開始までの夏季期間の電気使用量負担が収支を圧迫します。
- ・指定管理料の縮減を大きな目標と理解しますが、実際の利用者・利用団体の動きを見込み切る事は難しく、また、エネルギー調達コストや人件費コストの上昇傾向も否定する事が出来ず、指定管理料の大きな縮減を見込む事はできませんでした。
- ・以上の現状と数年後の見込みから当社は、すべての年度で指定管理料を参考価格の1.5億円以内を目標（予算）としますが、参考価格を大きく縮減する事はできません。
- ・年間収支が赤字となった場合は当社内で吸収し、東京都に支援を求めることはありません。黒字計上となった場合は、要項にお示しのある「10%以上の利益額の半額」を当施設に還元してことを提案します。
- ・東京都が購入された「貸靴」や「アイスホッケーゴール」「スピードスケート用安全マット」などを随時更新することを優先し、提案します。
- ・また、館内諸施設、設備の機器類などにおける消耗品や部品などの更新や修繕など、設備の長寿命化に貢献します。
- ・また特段の使用候補が無い場合は、東京都と協議して次年度の指定管理料の減額にあてていただく事も可能です。

6. 指定管理期間に十分な修繕費予算を計上

- ・事業計画書にて次の修繕費予算を提案しています。

年別修繕費予算(案)

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
修繕費						
合 計						

- ・全国で多数の指定管理事業所を受託する中で、老朽し放置された施設や設備が散見され、修繕や更新の予算措置に苦慮されるケースを見てきた当社は、
- ・特に本施設は、旧プール施設の大改修施設のため新しい施設・設備と**従来からの施設・設備が混在**し、特に古い施設・設備については特段の注視・監視が必要と考えます。
- ・**施設・設備・機器類の不具合について早期の対応をおこない施設の長寿命化を図ります。**
- ・この管理、点検下で不具合を早期に発見、察知して手当てを行います。早期修繕や部分更新などを積極的に行うための予算として当社は、年間 千円（令和7年度は 千円）を予算化します。
- ・また修繕費予算は当年度内で消化しなかった場合、
本施設が常に良好な状態で管理できるよう注力します。

事業者・団体名

セントラルスポーツ株式会社

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(1) 支出の計画

単位：千円

項目		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員								別紙1積算内訳①
	臨時職員							アルバイト、派遣職員、非常勤職員等	
	人件費 計(A)								
管理運営費	事業費							電気・ガス・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	光熱水費							消耗品、備品、印刷製本、原材料等	別紙1積算内訳③
	消耗品費等							電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	役務費							設備保守・清掃・警備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	委託費（維持管理費等）								別紙1積算内訳⑥
	修繕費・工事費							リース料等	別紙1積算内訳⑦
	賃借料							諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑧
	その他								
	小計								
	間接費							管理運営に伴う本社等の経費（人件費を含む。）	
	合計								
スポーツ振興事業費	消費税								
	管理運営費 計(B)								
	事業費							スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る事業費	事業計画書 3-1-(1)(2)
	間接費							スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業運営に伴う本社等の経費（人件費を含む。）	
	合計								
	消費税								
スポーツ振興事業費 計(C)									
支出合計(D=A+B+C)									

(2) 収入の計画

単位：千円

収入の項目		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合計	内容	備考
管 理 費 運 営 費	スポーツ施設利用料金							専用・個人の施設利用料金、自主事業及び周辺連携事業の施設利用料金	別紙1積算内訳⑨
	その他							預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙1積算内訳⑩
	管理運営費計(E)								
ス ポ 振 事 業 費	参加料							スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る参加料	事業計画書 3-1-(1) (2)
	その他							スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る協賛金等	
	スポーツ振興事業費計(F)								
その他(G)								自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(4) (5) (6)
収入合計(H=E+F+G)									

(3) 都からの委託料

單位：千円

項目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合計	内容	備考
都からの委託料（H－D）	149,934	149,562	149,562	149,784	149,047	747,890		

※（参考）自主事業、周辺連携事業及び利用者に対するサービス提供事業の収支（積算内訳は事業計画書3-1-(4)(5)(6)）

単位：千円

[illegible]

(4) 収支計画の積算内訳

① 人件費積算内訳

単位：千円

--

単位：千円

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
電 氣 代						
ガ ス 代						
プ ロ パ ン 代						
水 道 代						
合 計						

単位：千円

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
消 耗 品 費						
備 品 費						
印刷製本費						
貸靴メンテナンス費						
その他						
合 計						

単位：千円

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
電話等通信代						
郵便券代						
手数料						
保険料						
その他						
合 計						

単位：千円

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
	内訳は提案課題6 別紙2「⑤委託費（維持管理費等）積算の内訳」のとおり					

単位：千円

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
修 繕 費						
合 計						

⑦ 賃借料積算内訳

単位：千円

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
事務機器等						
PC 賃 借						
シュレッダー						
AED 賃 借						
そ の 他						
合 計						

⑧ 管理運営費・その他支出積算内訳

単位：千円

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
旅 費 交 通 費						
租 税 公 課						
広 告 宣 伝 費						
福 利 厚 生 費						
そ の 他						
合 計						

⑨ スポーツ施設利用料金収入積算内訳

単位：千円

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
大 会 等 利 用						
個 人 利 用						
団 体 利 用						
自 主 事 業 等						
貸 靴						
合 計						

※ ⑨スポーツ施設利用料金収入の積算補足資料

⑩ 管理運営費・その他収入積算内訳

単位：千円

項 目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
協 賛 金						
看 板 等						
合 計						

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
維持管理費	警備業務		
	施設維持管理（設備機器等）		
	施設、設備点検（法定含む）		
	植栽管理		
	清掃管理		
計			

- ※1 本計画書の作成に当たっては、収支計画書との整合を図ってください。
- ※2 積算に当たり、作業項目の追加・修正や作業頻度の変更を提案する場合等補足説明を要する場合は、別紙補足説明書に具体的な考え方や理由を記入してください。
- ※3 設備等の維持管理業務について、業務委託によらず指定管理者が実施し、委託費がかからない場合は、備考欄に実際にかかる経費を記載してください。
- ※4 作業項目の追加、修正等を行う場合は、本表を適宜修正してください。